

2013 年春季年会

年会プログラム

於 埼玉大学

2013 年 3 月 20 日 (水) ~ 3 月 23 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2013 年春季年会プログラム

期 日 2013 年 3 月 20 日 (水) ~ 3 月 23 日 (土)

場 所 埼玉大学 (埼玉県さいたま市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2013 年 3 月 19 日 (火) ~ 3 月 24 日 (日)>

月日	会場	10	11	12	13	14	15	16	17	18
3 月 20 日 (水)	A	受付				A. 宇宙天気	ASTRO-H 特別セッション (J会場)	天文教育 フォーラム (J会場)		理 事 会
	B					X. 銀河形成				
	C					P. 星・惑星				
	D					Y. 教育・他				
	E					T. 銀河団				
	F					W. 飛翔観				
	G					K. 超新星爆発				
	H					L. 太陽系/J. 高密度星				
	I					S. 銀河核				
	3 月 21 日 (木)					A				
B		B. 超巨大BH								
C		P. 星・惑星								
D		Q. 星間現象								
E		R. 銀河								
F		W. 飛翔観								
G		V. 地上観								
H		J. 高密度星								
I		S. 銀河核								
3 月 22 日 (金)		A	受付	A. 宇宙天気 B. 超巨大BH P. 星・惑星 Q. 星間現象 U. 宇宙論 W. 飛翔観 V. 地上観 J. 高密度星 M. 太陽	昼休み	ポスター	N. 恒星	ALMA 特別セッション (K会場)		
	B	B. 超巨大BH								
	C	P. 星・惑星								
	D	Q. 星間現象								
	E	U. 宇宙論								
	F	W. 飛翔観								
	G	V. 地上観								
	H	J. 高密度星								
	I	M. 太陽								
	3 月 23 日 (土)	A					受付			
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

A 会場: 総合研究棟 1F (シアター教室)

B 会場: 総合研究棟 2F (11 番講義室)

C 会場: 総合研究棟 2F (12 番講義室)

D 会場: 教育学部 A 棟 2F (210 号室)

E 会場: 教育学部 A 棟 2F (212 号室)

F 会場: 教育学部 A 棟 2F (213 号室)

G 会場: 教育学部 A 棟 2F (214 号室)

H 会場: 教育学部 A 棟 3F (324 号室)

I 会場: 教育学部 A 棟 3F (325 号室)

J 会場: 教育学部 C 棟 1F (C1 講義室)

K 会場: 全学講義棟 1 号館 3F (1-301 講義室)

受 付: 総合研究棟 1F ホール (A 会場前)

ポスター会場: 総合体育館 (体育室 1)

展示コーナー: ポスター会場

会 議 室 1: 総合研究棟 2F

会 議 室 2: 総合研究棟 2F

懇 親 会: 大学会館 3F (大集会室)

◎講演数

講演数：合計 678

(口頭講演 (a)：459、ポスター講演 (b)：150、ポスター講演 (c)：69)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (総合研究棟 1F ホール)

○参加登録受付時間：3月20日 11:00～16:00

3月21日 09:30～16:00

3月22日 09:30～16:00

3月23日 09:30～13:00

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は9会場で並行して行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3月20日の12:00から3月23日の14:00までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180cm×横90cmです。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月20日	15:00～16:30	J会場	ASTRO-H 特別セッション
	16:30～18:00	J会場	天文教育フォーラム
3月21日	16:00～17:00	J会場	会員全体集会
	17:00～18:30	J会場	受賞記念講演
3月22日	16:00～17:30	K会場	ALMA 特別セッション
	18:00～	大学会館 3F	懇親会
3月24日	13:30～17:00	埼玉大学 全学講義棟 1号館 301 講義室	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月20日	18:30～19:30	会議室 1	理事会	D
3月21日	12:00～13:00	D会場	代議員総会	D
3月22日	12:00～13:00	A会場	第43回天文夏の学校 座長団説明会	D
	12:00～13:00	B会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	12:00～13:00	D会場	光学赤外線天文連絡会総会	C
	12:00～13:00	F会場	女性天文学研究者の会ランチミーティング	B
	12:00～13:00	I会場	宇宙電波懇談会会合	C
3月23日	12:00～13:00	A会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	12:00～13:00	D会場	日本 SKA コンソーシアム会合	B
	12:00～13:00	I会場	太陽研究者連絡会	B

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい

B: 興味を持った人には広く門戸を開いている

C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない

D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎ ASTRO-H 特別セッション： 2014 年度完成をめざして

日 時：2013 年 3 月 20 日（水）15：00～16：30

場 所：J 会場

概 要： ASTRO-H は、日本で 6 番目の国際 X 線天文台です。マイクロカロリメータによる超精密分光 ($E / \Delta E \sim 1000$) や 0.3～600 keV の 3 桁以上もの広帯域での高感度観測が可能となります。銀河団、超新星残骸、ブラックホール近傍などにおける高温ガスの運動や、非熱的な放射を高感度でとらえることで、宇宙の進化に対する理解が大きく進展すると期待されています。

ASTRO-H の製作は、2014 年度完成を目指し、国内外のメンバー、担当メーカーの努力によって順調に進んでいます。その性能を天文コミュニティーのみなさまに十分に理解していただき、様々な波長域の観測や理論との連携について議論を加速させることを目的に、特別セッションを企画しました。

プログラム： 1. ASTRO-H 計画の概要 高橋忠幸（宇宙科学研究所）
 2. ASTRO-H の目指すサイエンス 1. ブラックホール Andy Fabian（ケンブリッジ大学）
 3. ASTRO-H の目指すサイエンス 2. 銀河団と宇宙論 Richard Mushotzky（メリーランド大学）

世 話 人：嶺重 慎（京都大学）

◎ ALMA 特別セッション：ALMA の共同利用観測と最新科学成果

日 時：2013 年 3 月 22 日（金）16：00～17：30

場 所：K 会場

概 要： ALMA の第 2 回目の初期科学運用 (cycle 1) が始まりました。最初の初期科学運用 (cycle 0) や科学評価観測 (Science Verification) では、既に他のミリ波・サブミリ波望遠鏡を遥かに凌ぐ性能が実証されており、銀河系内の星形成領域周辺の観測、近傍銀河の観測、さらには遠方銀河の輝線観測の成果も続々と出ています。本特別セッションでは、ALMA の進捗状況および共同利用情報、さらに Cycle 0 や Science Verification で得られた最新の科学成果についてご紹介する予定であります。第 3 回プロポーザル募集の直前ですので、今回新たに加わった機能やユーザー支援体制について具体的にご紹介し、天文学会の皆様のプロポーザルのブラッシュアップに役立てていただきたいと思います。

プログラム： 1. ALMA 進捗状況
 2. 東アジア地域センター共同利用、Cycle 2 Capabilities
 3. ALMA 最新科学成果

世 話 人：伊王野大介（国立天文台）

◎天文教育フォーラム

テ ー マ : 天文学は社会をリードできるか? - 過去に学び、現在を把握し、未来を展望する

日 時 : 2013年3月20日(水) 16:30~18:00

場 所 : J会場

概 要 : 天文学は、自然科学としての伝統の中にありながらも、常に社会システムの一部として機能してきました。長い天文学の歴史を振り返れば、その関係は常に変化し続けています。過去の社会における天文学の役割と、現代の社会における天文学の役割では、共通する点もあれば、大きく異なる点もあるでしょう。天文学が急激に発展し、かつ、社会も大きな変化を遂げる現代において、天文学は社会に対してどのような価値を提案していけるのでしょうか。今回の天文教育フォーラムでは、過去における天文学と社会の関係に学びつつ、現在の状況を俯瞰し、未来に向けての展望を考えていきたいと思えます。

プログラム: 1. 「歴史のなかの天文学の役割」 (中村士 / 帝京平成大学)
2. 「現代社会における天文学の役割 (?)」 (嶺重慎 / 京都大学)
3. 「人は宇宙から活力をもらえるか?」 (岡村定矩 / 法政大学)

参 加 費 : 天文教育フォーラムのみの参加者は、年会参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

実 行 委 員 : 高梨直紘 (東京大学)、松本直記 (慶應義塾高等学校)、篠原秀雄 (埼玉県立蕨高等学校)、安藤享平 (郡山市ふれあい科学館)

◎日本天文学会公開講演会

テ ー マ : 「埼玉発天空行 地上と宇宙をつなぐ天文学の歴史」

日 時 : 2013年3月24日(日) 13時半~17時 (開場: 13時)

場 所 : 埼玉大学 全学講義棟 1号館 301 講義室 (K会場)

対 象 : どなたでも参加できます。途中入退場可能です。

概 要 : 埼玉県には、理化学研究所や旧国立天文台堂平観測所など、長く日本の天文学を支えてきた研究施設があります。これらの研究施設や大学が積み上げてきた観測天文学研究の歴史や、現在の大型望遠鏡/衛星のプロジェクト、そこで明らかになってきたさまざまな宇宙の謎を紹介いたします。

一つ目の講演では、ロケット、人工衛星、宇宙ステーションなどに装置を乗せ、大気圏を抜けて宇宙空間から見えてきた、ブラックホールや超新星の残骸、中性子星の姿に、埼玉県和光市に本拠地をもつ理化学研究所が推進してきた研究のお話を交えて、理化学研究所でもご活躍されている東京大学の牧島一夫先生にご紹介いただきます。

二つ目の講演では、秩父地方にある堂平観測所 (現 堂平天文台 星と緑の創造センター) からハワイのすばる望遠鏡、そして次世代超大型望遠鏡 (TMT) へと日本における光赤外線天文学の進展、そこから見えてきた宇宙の描像と、今後についてのお話を、堂平観測所で研究を始めた広島大学の川端弘治先生にご講演いただきます。

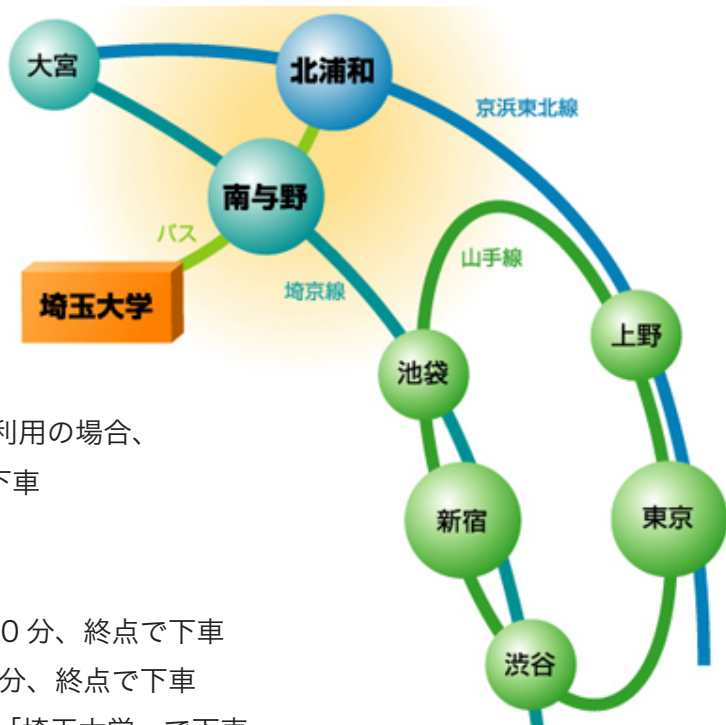
そして最後の講演では、南米アタカマ砂漠でサブミリ波観測を開始したアルマ電波望遠鏡による最新画像とともに、宇宙における古代史の謎について、埼玉県ご出身の東京大学の河野孝太郎先生にお話しいただきます。

埼玉から、世界各地そして宇宙から迫る最新の宇宙の姿について、ぜひお楽しみください。

内 容 : 講演1: 「宇宙空間から宇宙を見る」 牧島一夫 (東京大学 教授 / 理化学研究所 グループディレクター)
講演2: 「さいたまから、そしてハワイから宇宙を見る」 川端弘治 (広島大学 准教授)
講演3: 「南米アタカマから宇宙を見る」 河野孝太郎 (東京大学 教授)

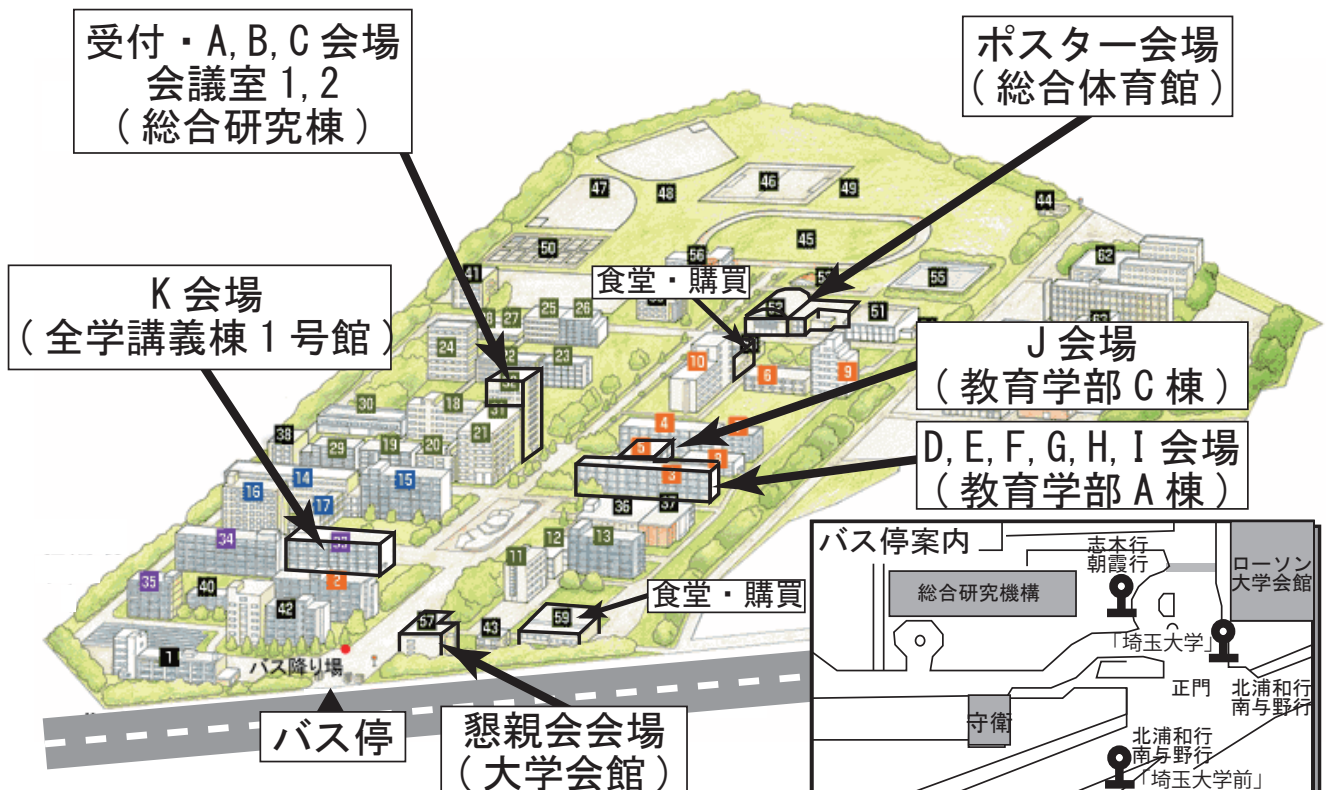
申 込 : 事前の参加申し込みは不要。参加費無料です。ただし、定員 400 名を超える場合には、入場制限をかける場合もあります。

春季年会会場 埼玉大学キャンパスのご案内



JR 京浜東北線 北浦和駅 (西口) を利用の場合、
「埼玉大学」行バス 15分、終点で下車

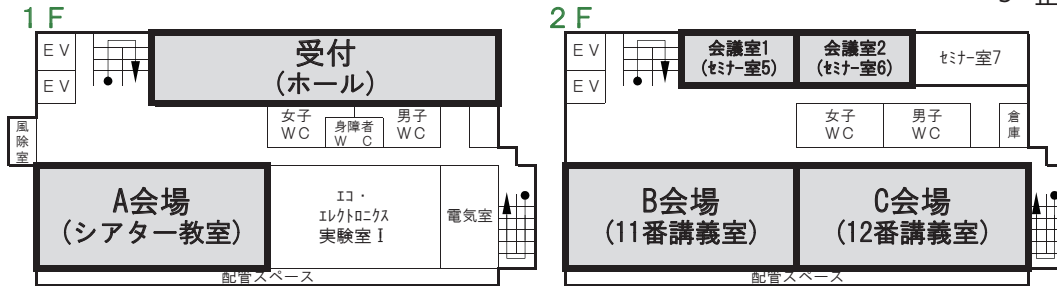
JR 埼京線 南与野駅 を利用の場合、
北入口バス停から「埼玉大学」行 10分、終点で下車
西口バス停から「埼玉大学」行 10分、終点で下車
「志木駅東口」「北朝霞駅」行 10分「埼玉大学」で下車



埼玉大学：<http://www.saitama-u.ac.jp/access/accessmap.html>

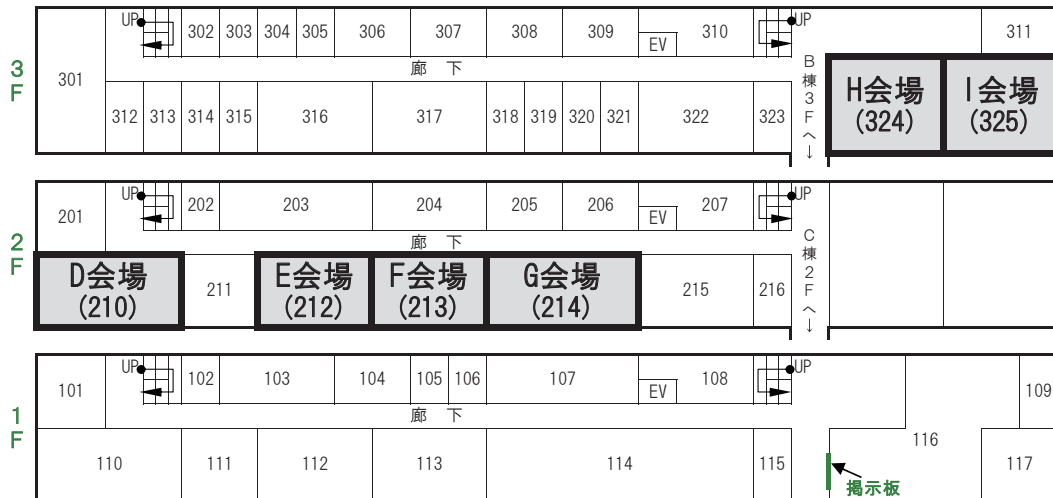
会場案内図

総合研究棟



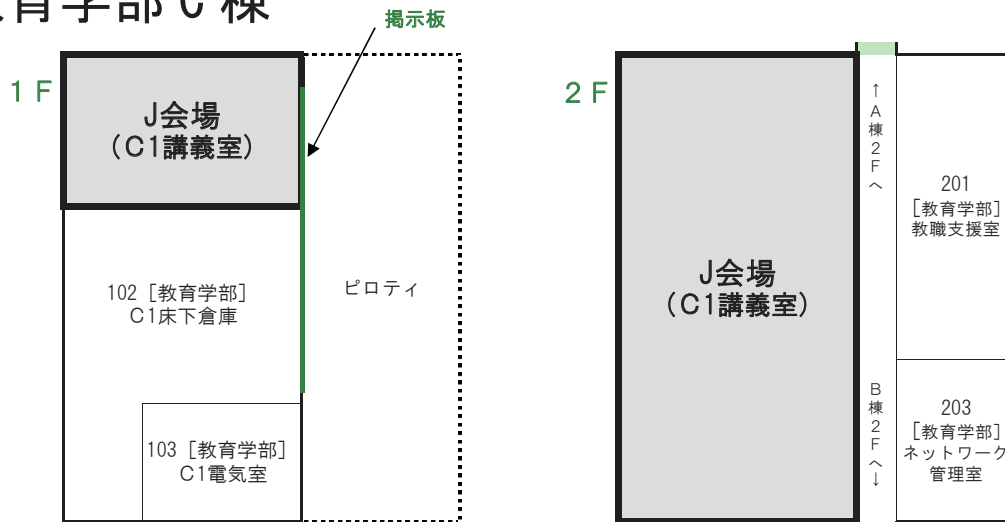
3F 以上には会場はありません

教育学部 A 棟



4F 以上には会場はありません

教育学部 C 棟



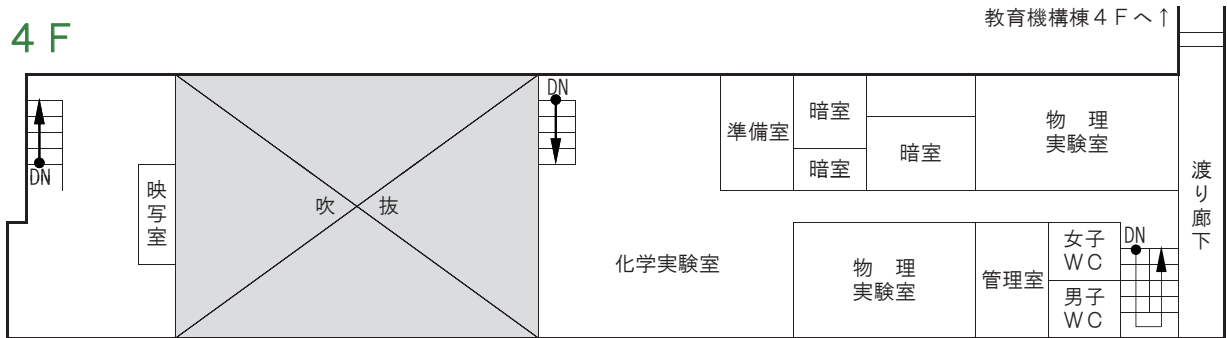
J会場は 1F と 2F の両方に入口があります

会場案内図

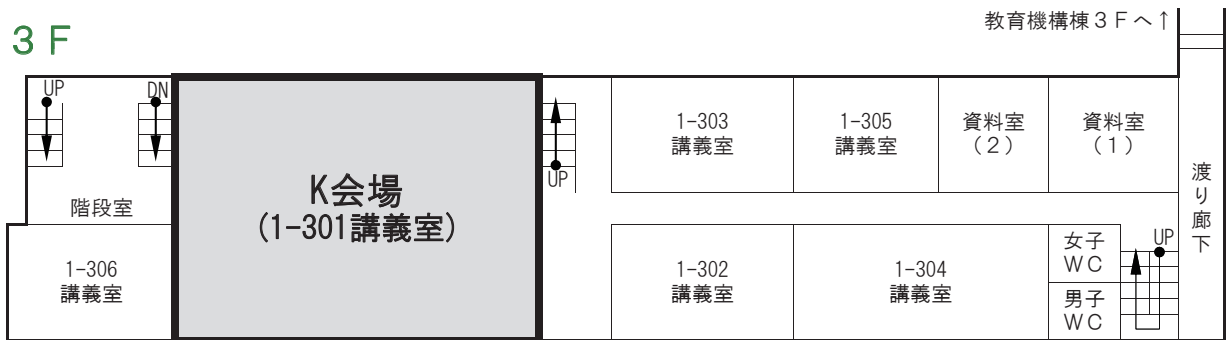


全学講義棟 1号館

4 F



3 F



総合体育館 (ポスター会場)

ポスター会場は土足禁止です。

入口に土足入れ用のビニール袋とスリッパを用意しますので、履き替えてご入場ください。

口頭セッション 3月20日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【宇宙天気】	【銀河形成】	【星・惑星】	【教育・他】	【銀河団】	【飛翔観】	【超新星爆発】	【太陽系/ 高密度星】	【銀河核】
13:00	A01r) A10b	X01a	P01a	Y01a	T01a	W01a	K01a	L01a	S01a
13:12		X02a	P02a	Y02a	T02a	W02a	K02b K03b K05b	L02a	S02a
13:24		X04a	P03a	Y03a	T03a	W03b W04b W05b	K06a	L03a	S03a
13:36		X05a	P04a	Y04a	T04a	W06a	K07a	L04a	S04a
13:48		X06a	P05a	Y06a	T05a	W07a	K08a	L05a	S05a
14:00		X07a	P06a	Y07a	T06a	W08a	K10a	L06a	S06a
14:12		X08a	P07a	Y08b Y10b Y11b	T07a	W09b W10b W11b	K11a	L07b L08b L09b	S07a
14:24		X09a	P08a	Y12a	T08a	W12a	K12a	J01a	S08a
14:36		X10b X11b X12b	P09a	Y13a	T09a	W13a	K13a	J02a	S09a
14:48		X13b X14b	P10a	Y15b	T10a	W14a	K14a	J04b J05b J06b	S10a
15:00	-	P11b P12b P13b	-	T11a	-	-	J10b	-	
15:12	-	-	-	-	T12b	-	-	-	
15:00	ASTRO-H 特別セッション (J会場)								
16:30	天文教育フォーラム (J会場)								
18:30	理事会 (会議室1)								

口頭セッション 3月21日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場		
開始時刻	【宇宙天気】	【銀河形成】	【星・惑星】	【教育・他】	【銀河】	【飛翔観】	【地上観】	【高密度星】	【銀河核】		
10:00	A11r ∩ A19b	X15a	P14a	Y16a	R01a	W19a	V01b V02b V03b	J13a	S11a		
10:12		X16a	P15a	Y17a	R02a	W20a	V04a	J14a	S12a		
10:24		X17a	P16a	Y18a	R06a	W21b W22b W23b	V05a	J15a	S13a		
10:36		X18a	P17a	Y19a	R07a	W24a	V06a	J16a	S14b S15b S16b		
10:48		X19a	P18a	Y20a	R08b R09b R10b	W25a	V07b V09b V10b	J17a	S17a		
11:00		X20a	P22a	Y21a	R12a	W26a	V11a	J18a	S18a		
11:12		X21a	P23a	Y22a	R13a	W27a	V12a	J19a	S19a		
11:24		X22a	P24a	Y23b Y24b Y25b	R15b R16b R17b	W28a	V13b V14b V15b	J20a	S20a		
11:36		X23a	-	Y27b Y30b Y31b	R18a	W29a	V16a	J21a	S21a		
11:48		X24a	-	-	R19a	W30b W31b	V17a	J22a	S22a		
12:00		X25a	-	-	-	-	V18b V19b	-	-		
12:00		昼休み（代議員総会）（D会場）									
13:00	ポスター										
開始時刻	【宇宙天気】	【超巨大BH】	【星・惑星】	【星間現象】	【銀河】	【飛翔観】	【地上観】	【高密度星】	【銀河核】		
14:00	A22r ∩ A31a	B01r ∩ B09a	P25a	Q01a	R21a	W32b W33b W34b	V21a	J23a	S24a		
14:12			P26a	Q02a	R22a	W35a	V22a	J24a	S25a		
14:24			P27a	Q03a	R23a	W36a	V23a	J25a	S26a		
14:36			∩	Q04a	R24a	W37b W38b W40b	V24a	J26a	S27a		
14:48			P31b P32b P33b	Q05a	R27a	W41a	V25a	J27a	S28a		
15:00			P34a	Q06a	R28a	W42a	V26a	J28b J29b J30b	S29a		
15:12			A19b	Q07a	R29a	W43b W44b W45b	V27a	J32b J33b J34b	S30a		
15:24			P36a	Q08a	R30a	W46a	V28a	J35a	S31b S32b		
15:36			P37a	Q09b Q10b Q11b	R31a	W47a	V29a	J36a	-		
15:48			P38a	-	R32a	W48b W49b	V30b V31b V32b	J37b J38b J39b	-		
16:00			会員全体集会（J会場）								
17:00			受賞記念講演（J会場）								

口頭セッション 3月22日(金)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場
開始時刻	【宇宙天気】	【超巨大 BH】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【飛翔観】	【地上観】	【高密度星】	【太陽】
10:00	A32r S A41a	B10r S B17a	P39a	Q12a	U01a	W51a	V33a	J41a	M01a
10:12			P40a	Q13a	U02a	W52a	V34a	J42a	M02a
10:24			P41a	Q14a	U03a	W53a	V35a	J43a	M03a
10:36			P42a	Q15a	U04a	W54a	V36a	J44a	M04a
10:48			P43a	Q16a	U05a	W55a	V37b V38b V39b	J45a	M05a
11:00			P44a	Q17a	U06a	W56a	V40a	J46a	M06a
11:12			P45a	Q18b Q19b	U07a	W57a	V41a	J47a	M07a
11:24			P46a	-	U08b U09b U10b	W58b W59b W60b	V42b V43b V44b	J48a	M08b M09b M10b
11:36			P47a	-	U13a	W61b W62b W63b	V45b V46b V47b	J49a	M11b M12b M13b
11:48			P48a	-	U14a	W64b W65b	V48b V49b V50b	J50b J51b J52b	M14b M15b
12:00	-	-	P50b P51b P52b	-	U15a	-	V51b V52b V53b	J54b J55b J56b	-
12:12	-	-	P53b	-	U16b	-	-	-	-
12:00	昼休み								
13:00	ポスター								
開始時刻	【恒星】	【超巨大 BH】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【飛翔観】	【地上観】	【高密度星】	【太陽】
14:00	N01a	B19r S B27b	P54a	Q22a	U18a	W66a	V55a	J59a	M20a
14:12	N02a		P55a	Q23a	U19a	W67a	V56a	J60a	M21a
14:24	N03a		P56a	Q24a	U20a	W68a	V57a	J61a	M22a
14:36	N04a		P57a	Q25a	U21a	W69a	V58a	J62a	M23a
14:48	N05b N08b N09b		P58a	Q26a	U22a	W70a	V59a	J63a	M24a
15:00	N10a		P59a	Q27a	U23a	W71a	V60a	J64a	M25a
15:12	N12a		P60a	Q28a	U24a	W72a	V61a	J65a	M26a
15:24	N13a		P61a	Q29a	U25a	W73a	V62a	J66a	M27a
15:36	N14a		P62a	Q30a	U26a	W74a	V63a	J67a	M28a
15:48	N15a		P63a	Q31a	-	-	V64a	J68a	M29a
16:00	N16b	-	-	Q32a	-	-	-	-	-
16:00	ALMA 特別セッション (K 会場)								
16:00	懇親会 (大学会館 3F)								

口頭セッション 3月23日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	【恒星】	【超巨大BH】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【地上観】	【高密度星】	【太陽】	
10:00	N18a	B29a) B38a	P64a	Q33a	U27a	V65a	J69a	M30a	ジュニアセッション
10:12	N19a		P65a	Q34a	U28a	V66a	J70a	M31a	
10:24	N20a		P66a	Q35a	U29a	V67a	J71a	M32a	
10:36	N21a		P67a	Q36a	U30a	V68a	J72a	M33a	
10:48	N22a		P68a	Q37a	U31a	V69a	J73a	M34a	
11:00	N23a		P69a	Q38a	U32a	V70a	J74a	M35a	
11:12	N24a		P70a	Q39a	U33a	V71a	J75a	M36a	
11:24	N25a		P71a	Q40a	-	V72a	J76a	M37a	
11:36	N26a		P72a	-	-	V73a	J77a	M38a	
11:48	-		P73a	-	-	V74a	J78a	M39a	
12:00	-	-	P74a	-	-	V75a	-		
12:00	昼休み								
13:00	ポスター								

ポスターセッション 3月21日(木) ~ 3月23日(土)

ポスター会場 (総合体育館)				
【宇宙天気】(10)				
A08b	A09b	A10b	A17c	A19b
A20c	A21c	A23c	A25c	A40c
【超巨大BH】(4)				
B18c	B27b	B28c	B34c	
【高密度星】(30)				
J03c	J04b	J05b	J06b	J07c
J08c	J09c	J10b	J11c	J12c
J28b	J29b	J30b	J31c	J32b
J33b	J34b	J37b	J38b	J39b
J40c	J50b	J51b	J52b	J53c
J54b	J55b	J56b	J57c	J58c
【超新星爆発】(5)				
K02b	K03b	K04c	K05b	K09c
【太陽系】(4)				
L07b	L08b	L09b	L10c	
【太陽】(12)				
M08b	M09b	M10b	M11b	M12b
M13b	M14b	M15b	M16c	M17c
M18c	M19c			
【恒星】(8)				
N05b	N06c	N07c	N08b	N09b
N11c	N16b	N17c		
【星・惑星形成】(17)				
P11b	P12b	P13b	P19c	P20c
P21c	P28b	P29b	P30b	P31b
P32b	P33b	P49c	P50b	P51b
P52b	P53b			
【星間現象】(7)				
Q09b	Q10b	Q11b	Q18b	Q19b
Q20c	Q21c			
【銀河】(15)				
R03c	R04c	R05c	R08b	R09b
R10b	R11c	R14c	R15b	R16b
R17b	R20c	R25c	R26c	R33c
【活動銀河核】(6)				
S14b	S15b	S16b	S23c	S31b
S32b				
【銀河団】(3)				
T12b	T13c	T14c		
【宇宙論】(7)				
U08b	U09b	U10b	U11c	U12c
U16b	U17c			

ポスターセッション 3月21日(木) ~ 3月23日(土)

【地上観測機器】(32)

V01b V02b V03b V07b V08c
 V09b V10b V13b V14b V15b
 V18b V19b V20c V30b V31b
 V32b V37b V38b V39b V42b
 V43b V44b V45b V46b V47b
 V48b V49b V50b V51b V52b
 V53b V54c

【飛翔体観測機器】(36)

W03b W04b W05b W09b W10b
 W11b W15c W16c W17c W18c
 W21b W22b W23b W30b W31b
 W32b W33b W34b W37b W38b
 W39c W40b W43b W44b W45b
 W48b W49b W50c W58b W59b
 W60b W61b W62b W63b W64b
 W65b

【銀河形成】(6)

X03c X10b X11b X12b X13b
 X14b

【天文教育・他】(17)

Y05c Y08b Y09c Y10b Y11b
 Y14c Y15b Y23b Y24b Y25b
 Y26c Y27b Y28c Y29c Y30b
 Y31b Y32c

【最新情報コーナー】

【展示コーナー】

(株) アド・サイエンス

Exelis VIS (株)

(株) 光学技研

A. 宇宙天気と宇宙気候

3月20日(水) 午後・A会場		3月21日(木) 午前・A会場	
13:00	A01r Korean Solar and Space weather Research • (24) Young-deuk Park (KASI)	10:00	A11r Extreme Space Weather Events: Some Predictions for the Magnetosphere and Ionosphere • (24) Bruce Tsurutani (Jet Propulsion Laboratory and Calif. Inst. Tech.)
13:24	A02r Recent Activities Related to CAWSES-II in China • (24) Yihua Yan (NAOC)	10:24	A12r Rapid increase in cosmic-ray intensity in the past from tree rings • (24) Kimiaki Masuda (Nagoya Univ.)
13:48	A03a Research activities of GEMSIS-Sun phase 2 • (12) Satoshi Masuda (Nagoya Univ.)	10:48	A13a Superflares on Sun-like Stars • (12) Daisaku Nogami (Kyoto Univ.)
14:00	A04a Does Magnetic Helicity Matter in Solar Eruptions? • (24) Jongchul Chae (Seoul National Univ.)	11:00	A14r White-light flares observed by Hinode/SOT • (24) Kyoko Watanabe (JAXA)
14:24	A05a Triggering Mechanism and Predictability of Solar Flares and Coronal Mass Ejections • (12) Kanya Kusano (Nagoya Univ.)	11:24	A15a Space weather researches using data accumulated with Continuous H-Alpha Imaging Network (CHAIN) • (12) Satoru UeNo (Kyoto Univ.)
14:36	A06a Comparative Study of Observations and Simulations on Flare Trigger Process • (12) Yumi Bamba (Nagoya Univ.)	11:36	A16a H α Full Disk Synoptic Observations with SMART at Hida Observatory • (12) Takako T. Ishii (Kyoto Univ.)
14:48	A07a Coronal characteristics before the large flare onset • (12) Shinsuke Imada (Nagoya Univ.)		A17c High polarimetric sensitivity photospheric magnetic field observations with Solar Magnetic Activity Research Telescope (SMART) Shinichi Nagata (Kyoto Univ.)
15:00	A08b Formation of triggering region of M6.6 Flare in NOAA AR11158 • (3) Yusuke Iida (JSPS(Tokyo Univ.))	11:48	A18a Science and Operational activities of NICT Space Weather • (12) Mamoru Ishii (NICT)
15:03	A09b Investigation of virial theorem in active region on the Sun : comparison between simulation and observation • (3) Jihye Kang (Kyung Hee Univ.)	12:00	A19b CME parameters obtained by the model and solar corona and solar wind features • (3) Shinichi Watari (National Institute of Information and Communications Technology)
15:06	A10b Magnetic-field configurations of an active region formed via flux emergence on the Sun • (3) Hwanhee Lee (Kyung Hee Univ.)		A20c An Investigation of the Photospheric and Chromospheric Layers of Sunspots Kap-Sung Kim (Kyung Hee Univ.)
			A21c Determination of Prominence Plasma β from the Dynamics of Rising Plumes Andrew Hillier (Kyoto Univ.)

3月21日(木) 午後・A会場		3月22日(金) 午前・A会場	
14:00	A22r Review on the Relationship between Metric Type II Solar Radio Bursts and Coronal Mass Ejections • (24) Kyungsuk Cho (KASI)	10:00	A32r Space weather disturbances in the solar wind-magnetosphere-ionosphere coupled system • (24) Takashi Kikuchi (Nagoya Univ., STEL)
	A23c The Relation between the Filament Eruption and the Shock in the Radial Direction Harufumi Tamazawa (Kyoto Univ.)	10:24	A33a Snowball Earth Events Driven by Starbursts of the Milky Way Galaxy • (12) Toshikazu Ebisuzaki (RIKEN)
14:24	A24a Prominence oscillation and compression as evidence of shock nature of globally propagated EUV wave • (12) Takuya Takahashi (Kyoto Univ.)	10:36	A34a Mass Extinction due to the environmental catastrophe driven by the encounter with a dark cloud • (12) Tokuhiko Nimura (Okayama Astronomical Museum)
	A25c An Investigation of coronal mass ejections and EUV waves for space weather forecasting Shuhei Abe (Ibaraki Univ.)	10:48	A35a Diagnosis of modulation in an Antarctic ice core oxygen isotope record • (12) Yuko Motizuki (RIKEN)
14:36	A26r Current understanding of the ring current and its active role in the magnetosphere and ionosphere • (24) Yusuke Ebihara (Kyoto Univ.)	11:00	A36a Unusual migration of the prominence activities in recent solar cycles • (12) Masumi Shimojo (NAOJ)
15:00	A27a Helioseismic Detection of the Subsurface Magnetic Flux Emergence • (12) Shin Toriumi (Tokyo Univ.)	11:12	A37a Derivation of the Solar Plage Index using the Flare Monitoring Telescope at the Hida Observatory • (12) Hiroko Watanabe (Kyoto Univ.)
15:12	A28a STABILITY OF A PRE-ERUPTIVE FLUX ROPE FORMED VIA FLUX EMERGENCE ON THE SUN • (12) Tetsuya Magara (Kyung Hee Univ.)	11:24	A38r Long-term Variation of Relativistic Electrons at Geostationary Orbit • (12) Takahiro Obara (Tohoku Univ.)
15:24	A29a Numerical Simulations of the Kink oscillations in the solar coronal loops with field aligned flows • (12) Vinay Shankar Pandey (School of Space Research, Kyung Hee Univ.)	11:36	A39a Diagnosing flare-productive active regions using EUV images for space weather forecast to deep space probes • (12) Yuko Hada (Kyoto Univ.)
15:36	A30a Development of automatic daily MHD simulation of inner heliosphere • (12) Daikou Shiota (RIKEN)		A40c Study of satellite anomalies and space weather Satoshi Nozawa (Ibaraki Univ.)
15:48	A31a Prediction model for a decay phase of high energy solar energetic particle events • (12) Yûki Kubo (National Institute of Information and Communications Technology)	11:48	A41a Contribution of Reconnection-accelerating Particles to SEPs • (12) Naoto Nishizuka (ISAS/JAXA)

B. 超巨大ブラックホールの起源

3月21日(木) 午後・B会場		3月22日(金) 午前・B会場	
14:00	B01r 初期宇宙でのブラックホール形成と進化：理論モデル・(22) 吉田直紀(東京大学)	10:00	B10r 共進化問題の現状と展望：理論編・(22) 和田桂一(鹿児島大学)
14:22	B02a Direct collapse シナリオによる超巨大ブラックホールの種形成・(12) 稲吉恒平(京都大学)	10:22	B11a 巨大ブラックホールの形成・成長と銀河との共進化・(16) 川口俊宏(山口大学)
14:34	B03a SMBH 成長の恒星系力学・(16) 牧野淳一郎(東京工業大学)	10:38	B12a 巨大ブラックホール降着流の磁気流体数値実験の進展・(12) 松元亮治(千葉大学)
14:50	B04a 銀河中心における連 SMBH まわりの星の速度構造・(12) 船渡陽子(東京大学)	10:50	B13a 星の潮汐破壊イベントにおける超巨大ブラックホール周囲の降着円盤形成・(12) 早崎公威(韓国天文宇宙科学研究院)
15:02	B05a 大規模 GPU クラスタを用いて探る超巨大ブラックホール成長の現場・(12) 三木洋平(筑波大学)	11:02	B14a 定常銀河風における銀河中心超巨大ブラックホールの影響・(12) 五十嵐朱夏(筑波大学)
15:14	B06a 銀河系中心 SgrA* ブラックホールの周辺環境・(12) 高橋真聡(愛知教育大学)	11:14	B15a 超巨大ブラックホールからのクランピーアウトフロー：BLR クラウドの起源？・(12) 竹内 駿
15:26	B07a 三地球質量ガス雲 G2 の近点通過によるフレア現象について・(12) 斎藤貴之(東京工業大学)	11:26	B16a 超巨大ブラックホールと電波ジェット活動の関係・(12) 土居明広(宇宙航空研究開発機構)
15:38	B08a 短基線 VLBI による Sagittarius A* の2013年事象の観測・(12) 坪井昌人(宇宙航空研究開発機構)	11:38	B17a 多波長観測で探る中心エンジン・核周物質とジェットのトリガ・(12) 永井 洋(国立天文台)
15:50	B09a 銀河系中心領域に埋もれた超大質量星団の間接的検出と中質量ブラックホールの検出可能性・(12) 岡 朋治(慶應義塾大学)		B18c 電波フラックスの個数分布から制限づける降着円盤風の噴出角 林 隆之(東京大学)

3月22日(金) 午後・B会場		3月23日(土) 午前・B会場	
14:00	B19r ALMA時代の超巨大ブラックホール形成研究・(22) 河野孝太郎(東京大学)	10:00	B29a すばる望遠鏡広視野サーベイで探る宇宙初期の超巨大ブラックホール形成・(16) 今西昌俊(国立天文台)
14:22	B20r X-ray emission from active nuclei hosted in galaxies in build-up・(22) Kazushi Iwasawa (ICREA, Universitat de Barcelona)	10:16	B30a Impact of environment on AGNs and their host galaxies in COSMOS・(16) John D. Silverman (Kavli IPMU, Univ. of Tokyo)
14:44	B21a 近傍AGNのX線スペクトル観測によるブラックホール周辺環境への制限・(12) 海老沢 研(宇宙航空研究開発機構)	10:32	B31a 銀河と超巨大BHの共進化: AGN母銀河に広がる巨大電離ガスの正体・(16) 松岡良樹(名古屋大学)
14:56	B22a 近傍AGNの多波長モニタ観測による広輝線領域電離ガスへの制限・(12) 鮫島寛明(宇宙航空研究開発機構)	10:48	B32a 赤方偏移 1-2 の宇宙における活動的超巨大ブラックホールの統計調査・(12) 秋山正幸(東北大学)
15:08	B23a 時間変動から分解する巨大ブラックホール近傍からの複数の一次X線放射・(12) 野田博文(東京大学)	11:00	B33a ヴァーチャル天文台を用いたAGNと銀河のクラスタリング研究: ブラックホール質量との相関・(12) 小宮 悠(国立天文台)
15:20	B24a 「すざく」とASTRO-H衛星で迫るAGNの激しいX線時間変動の起源・(12) 井上真奈(首都大学東京)	B34c 可視光度時間変動による低光度活動銀河核探査 諸隈智貴(東京大学)	
15:32	B25a 軟X線放射のみを示すAGN 2XMM J123103.2+110648の中間質量ブラックホール・(12) 寺島雄一(愛媛大学)	11:12	B35a 超巨大ブラックホールの活動と銀河中心核構造の形成・(12) 嶺重 慎(京都大学)
15:44	B26a 遠方銀河団 SPT-CLJ2344-4243の中心銀河に存在するType 2 QSO - 吸収を受けたべき関数成分と中性鉄のK輝線 - ・(12) 上田周太郎(大阪大学)	11:24	B36a 巨大ブラックホールの誕生と進化は観測できるか・(12) 谷口義明(愛媛大学)
15:56	B27b 「すざく」による低光度活動銀河核 NGC 1566・NGC 4941の観測・(3) 川室太希(京都大学)	11:36	B37a 近傍宇宙における巨大ブラックホール観測の展望・(12) 岩室史英(京都大学)
	B28c 電波強度の大きな活動銀河核のX線観測による系統的研究(I) 田崎文得(京都大学)	11:48	B38a ダークマター宇宙における超巨大ブラックホールの階層的成長過程・(12) 梅村雅之(筑波大学)

J. 高密度星

3月20日(水) 午後・H会場		3月21日(木) 午前・H会場	
14:24	J01a LMXB populations in galaxy outskirts: evidence for natal neutron star kicks Zhongli Zhang (The Univ. of Tokyo)		J12c パルサーやマグネターの磁気圏構造 解明のための数値計算 小島康史 (広島大学)
14:36	J02a Cyclic X-ray Activity in Be/X-ray Binaries in the Context of Decretion Disk Evolution 岡崎敦男 (北海学園大学)	10:00	J13a 全天X線監視装置 MAXI と Swift 衛星による GRB 121027A の観測 芹野素子 (理化学研究所)
	J03c カラー超伝導と核子の超流動を考慮した高密度星の熱的進化 野田常雄 (九州大学)	10:12	J14a MAGIC 報告 14 : MAGIC 望遠鏡アップグレード後の GRB 観測 遠山 健 (Max-Planck-Institut für Physik)
14:48	J04b 「すざく」衛星による共生 X 線連星の Low/Hard 状態の観測 北村唯子 (広島大学)	10:24	J15a MITSuME 望遠鏡による GRB111228A, GRB121011A の観測 青木 優 (東京工業大学)
14:48	J05b 大質量 X 星連星におけるクランプ状星風降着の数値計算 鷹野重之 (九州産業大学)	10:36	J16a GRB 初期残光の偏光観測 高木勝俊 (広島大学)
14:48	J06b Be 星周円盤の変動から探る γ 線連星 LS+61° 303 における高エネルギー放射機構の解明 森谷友由希 (広島大学)	10:48	J17a 構造を持つ相対論的ジェットからの光球面放射に伴う偏光 伊藤裕貴 (京都大学)
	J07c ガンマ線連星 PSR B1259-63 における、衝撃波領域からの放射を考慮に入れた逆コンプトン放射モデル 山口正輝 (大阪大学)	11:00	J18a 相対論的衝撃波ブレイクアウトにおける光子スペクトル 寺口智文 (首都大学東京)
	J08c TeV ガンマ線連星 PSR B1259-63/LS2883 の連星軌道面と主星の位置関係が与える高エネルギー放射変動への影響 山本未知彦 (東海大学)	11:12	J19a 電磁気優勢プラズマにおける磁気リコネクションと Plasmoid-Chain 高本 亮 (Max-Planck-Institute for Nuclear Physics)
	J09c IRSF/SIRIUS・SIRPOL を用いたガンマ線連星の近赤外観測 佐藤景子 (東海大学)	11:24	J20a ガンマ線バースト中心エンジンの 3 次元数値シミュレーション 長瀧重博 (京都大学)
15:00	J10b 電気抵抗を考慮したパルサー磁気圏モデル 加藤祐悟 (広島大学)	11:36	J21a ブラックホール - 中性子星連星合体の数値相対論シミュレーション 関口雄一郎 (京都大学)
	J11c Crab パルサー巨大電波パルスの抽出処理における RFI の自動除去 寺澤敏夫 (東京大学)	11:48	J22a 次世代重力波望遠鏡による球状星団起源の連星ブラックホールの検出率 谷川 衝 (会津大学)

3月21日(木) 午後・H会場		
14:00	J23a MAXI/GSCとSSCによるBH新星 MAXI J1910-057の発見と長期モニタ 観測 中平聡志(宇宙航空研究開発機構)	15:12 J34b GRB ジェットからの重力波メモリー 中田めぐみ(日本大学)
14:12	J24a X線新星 MAXI J1305-704の発見 森鼻久美子(理化学研究所)	15:24 J35a 「すざく」による低質量中性子星連星 GS1826-238の観測 鳥井俊輔(東京大学)
14:24	J25a すざく衛星によるX線新星 MAXI J1305-704の観測 志達めぐみ(京都大学)	15:36 J36a 降着X線パルサーでのサイクロトロン 線エネルギーの光度依存性について 西村 治(長野高専)
14:36	J26a 中性子星X線連星 MAXI J0556-332 で観測されたアウトバースト終端、静 穏、再活動の状態遷移 杉崎 睦(理化学研究所)	15:48 J37b 「すざく」搭載 XISによるHercules X-1のパルス位相別スペクトル解析 近藤恵介(総合研究大学院大学)
14:48	J27a 低質量X線連星 4U1608-52とAql X-1の光度曲線の特徴と降着円盤の 状態 浅井和美(理化学研究所)	15:48 J38b X線パルサー GX 1+4の「すざく」に よる観測 北本俊二(立教大理)
15:00	J28b 全天X線監視装置 MAXIによる2012 年度後半の突発天体(現象)の検出 浅田 真(日本大学)	15:48 J39b すざく衛星によって発見された SMC 内 のX線ランジェントパルサー 和田師也(宇宙航空研究開発機構)
15:00	J29b MAXIによるX線光度から推定するBe 型星の星周円盤の密度と全質量 高木利紘(日本大学/理化学研究所)	J40c ブラックホール候補天体 XTE J1856+053のX線観測 田中 結(青山学院大学)
15:00	J30b MAXIが捉えたBe/X線連星パルサー の巨大増光と軌道位相シフト 中島基樹(日本大学)	
	J31c 低質量X線連星 MAXI J0556-332の X線スペクトルの時間変動とその放射 モデル 櫻井壮希(東京大学)	
15:12	J32b 磁気リコネクション領域からの非熱的 放射スペクトル 寺木悠人(大阪大学)	
15:12	J33b INTEGRAL衛星を用いたマグネター候 補天体の探査 坂本貴紀(青山学院大学)	

3月22日(金) 午前・H会場	
10:00	J41a 新星の2色図 -- 爆発時の一般的な進化経路 蜂巢 泉 (東京大学)
10:12	J42a アンドロメダ銀河の新星 M31N-2011-01a の初期観測 新井 彰 (兵庫県立大学)
10:24	J43a 磁気回転乱流による円盤コロナ加熱、及び、円盤風駆動 井尾勇貴 (名古屋大学)
10:36	J44a 矮新星 ER UMa の negative superhump の測光観測による円盤構造の解明 大島誠人 (京都大学)
10:48	J45a 輻射磁気流体力学計算による矮新星降着円盤の熱平衡曲線 I 廣瀬重信 (海洋研究開発機構)
11:00	J46a 潮汐不安定および Superhump の Wave-Wave 共鳴モデルでの解釈 加藤正二
11:12	J47a 矮新星の早期スーパーハンプ現象の共鳴モデル~ 2:1 共鳴 vs 3:1 共鳴 宮井大輝 (京都大学)
11:24	J48a Kepler 衛星データが明らかにした SU UMa 型矮新星のスーパーアウトバーストの機構 尾崎洋二 (東京大学)
11:36	J49a ニュートリノ冷却優勢円盤からのジェット光度の評価とガンマ線バーストへの応用 川中宣太 (Racah Institute of Physics, The Hebrew Univ.)
11:48	J50b 古典新星 Nova Aql 2012 の観測 梶川智代 (京都産業大学)
11:48	J51b 2012 年にアウトバーストした新星の測光分類と距離測定 野口 亮 (大阪教育大学)
11:48	J52b WZSge 型矮新星における再増光現象の可視 2 色同時観測 磯貝瑞希 (京都産業大学)
	J53c いくつかのじゅう座新星 2012 (Nova Mon 2012) の分光及び多色測光観測 今村和義 (岡山理科大学)
12:00	J54b 明るいハード状態円盤形成の三次元磁気流体数値実験 小田 寛 (国立天文台)
12:00	J55b ブラックホール輻射磁気流体アウトフローのコンプトン冷却 川島朋尚 (上海天文台)
12:00	J56b 多ブラックホールの影 新田大輔 (東北大学)
	J57c ブラックホール風の見かけの光球とスペクトル: 電子散乱を考慮した計算 小倉和幸 (大阪教育大学)
	J58c 明るい天体の上空に浮遊する層雲中での輻射輸送について: 球状光源、円盤状光源、降着円盤の場合 福江 純 (大阪教育大学)

3月22日(金) 午後・H会場		3月23日(土) 午前・H会場	
14:00	J59a 「すざく」衛星を用いたブラックホール連星 Cygnus X-1 のハード状態のスペクトル成分とその時間変動の最新成果 山田真也 (理化学研究所)	10:00	J69a ハドロン・クォーク間の表面張力とシア運動 祖谷 元 (京都大学)
14:12	J60a 「すざく」による ULX 天体 Holmberg IX X-1 の観測 (2) 小林翔悟 (東京大学)	10:12	J70a 様々な初期条件、境界条件下の中性子星の磁場の進化計算 藤澤幸太郎 (東京大学)
14:24	J61a 光学的に薄い磁気圧優勢円盤からの放射スペクトル: 明るいハード状態への適用 小田 寛 (国立天文台)	10:24	J71a 「すざく」による活動期の AXP 4U 0142+614 の X 線観測 中川友進 (早稲田大学)
14:36	J62a ブラックホール降着円盤からの X 線放射強度の対数正規分布と自己組織化臨界モデル 河端洋人 (京都大学)	10:36	J72a マグネター 4U 0142+61 における自由歳差運動の徴候 牧島一夫 (東京大学)
14:48	J63a ブラックホールが誘起する磁気リコネクション 小出眞路 (熊本大学)	10:48	J73a 「すざく」衛星による超新星残骸 G330.2+1.0 の中心天体の観測 村上浩章 (東京大学)
15:00	J64a 相対論的 MHD ジェットの効率良い加速 當真賢二 (大阪大学)	11:00	J74a すざく衛星搭載 WAM による軟 γ 線長期地食観測 河野貴文 (広島大学)
15:12	J65a 相対論的輻射流体力学計算の新展開 大須賀 健 (国立天文台)	11:12	J75a MAGIC 報告 15: Geminga パルサーの観測 齋藤隆之 (Max-Planck-Institut für Physik)
15:24	J66a 周縁減光と電子散乱を考慮した中性子星風のスペクトル 梅津寛明 (大阪教育大学)	11:24	J76a Crab パルサーの巨大電波パルスと硬 X 線パルスとの相関の検証 三上 諒 (東京大学)
15:36	J67a 膨張プラズモイドの観測的形状とスペクトル 竹中萌美 (大阪教育大学)	11:36	J77a パルサー風領域での誘導コンプトン散乱: かにパルサーへの適用 田中周太 (青山学院大学)
15:48	J68a 中性子の脱出を考慮した降着円盤の構造 木村成生 (大阪大学)	11:48	J78a 古いパルサーでの粒子加速と粒子生成 木坂将大 (東京大学)

K. 超新星爆発

3月20日(水) 午後・G会場		
13:00	K01a 光赤外線大学間連携による super-Chandrasekhar 候補 SN 2012dn の観測 山中雅之 (京都大学)	14:36 K13a 超新星爆発の2次元セルフコンシステントモデルによる元素合成 和南城伸也 (国立天文台)
13:12	K02b Kiso Supernova Survey(KISS) 森 健彰 (甲南大学)	14:48 K14a 巨大質量星が進化した非球対称超新星爆発における ^{56}Ni 合成 吉田 敬 (東京大学)
13:12	K03b 「すざく」による銀河中心超新星残骸 Sgr A East からの高階電離 Mn・Cr K α 輝線の発見 内山秀樹 (東京大学)	
	K04c 超新星ニュートリノの観測予想とニュートリノ振動に関する統計解析 谷貝麻純 (東京理科大学)	
13:12	K05b 超新星ショックブレイクアウトの多次元計算に向けた輻射流体コードの開発 鈴木昭宏 (国立天文台)	
13:24	K06a 継続的エネルギー流入による爆発についての自己相似解 坪木曜一郎 (東京大学)	
13:36	K07a 超新星の衝撃波発展に回転が与える影響 中村 航 (国立天文台)	
13:48	K08a ニュートリノ駆動型超新星爆発と核物質状態方程式 諏訪雄大 (京都大学)	
	K09c 有限温度超新星物質における α 粒子を考慮した非一様状態相の計算 山室早智子 (東京理科大学)	
14:00	K10a 重力崩壊型超新星における磁気回転不安定のグローバルシミュレーション 澤井秀朋 (東京理科大学)	
14:12	K11a ONe コアの重力崩壊 2 高橋 亘 (東京大学)	
14:24	K12a SPH シミュレーションを用いた Ia 型超新星 progenitor モデルの検証 佐藤裕史 (東京大学)	

L. 太陽系

M. 太陽

3月20日(水) 午後・H会場		3月22日(金) 午前・I会場	
13:00	L01a 「あかり」遠赤外線拡散光全天マップに見られる黄道光微細構造の空間分布 大坪貴文(東北大学)	10:00	M01a 光球面磁束管の崩壊過程について 永田伸一(京都大学)
13:12	L02a 小惑星探査ミッション「はやぶさ」の総括 吉川 真(宇宙航空研究開発機構)	10:12	M02a Magnetic Filling Factor の解釈(2) 桜井 隆(国立天文台)
13:24	L03a 同時多点観測による微光流星の軌道分布調査 藤井大地(大阪教育大学)	10:24	M03a 太陽静穏領域における超粒状斑と磁気ネットワークの関係について 飯島陽久(東京大学)
13:36	L04a GIGMICSによる金星大気の間中赤外線高分散分光観測 柴田 将(名古屋大学)	10:36	M04a ひので/SOTで観測された太陽リム近傍におけるEllerman bomb現象 大辻賢一(国立天文台)
13:48	L05a 口径35cm望遠鏡による低軌道光通信衛星の位置観測計画について 布施哲治(情報通信研究機構)	10:48	M05a HIパッシェン系列のスペクトル線を用いた活動領域ジェットの偏光観測 阿南 徹(京都大学)
14:00	L06a 彗星名の発音調査 佐藤 勲(中野星の会)	11:00	M06a 野辺山電波ヘリオグラフを用いた彩層磁場診断 岩井一正(国立天文台)
14:12	L07b 小惑星・衛星名の発音調査 佐藤 勲(中野星の会)	11:12	M07a 誕生時から観察可能な β γ δ 領域の δ 形成過程とフレア活動 滝澤 寛(京都大学)
14:12	L08b アイソン彗星(C/2012 S1 (ISON))からの流星群出現の可能性の検討 佐藤幹哉(かわさき宙と緑の科学館)	11:24	M08b 太陽フレアにおけるニュートリノ放射の数値的研究 武石隆治(東京大学)
14:12	L09b 南極昭和基地での流星の自動ビデオ観測 藤原康德(日本流星研究会)	11:24	M09b スーパーコンピューター「京」を用いた世界最高解像度の全球殻熱対流数値計算 堀田英之(東京大学)
	L10c 2009-12年の木星南赤道縞の変化について 浅田 正(九州国際大学)	11:24	M10b 活動領域の磁気ヘリシティのバタフライダイアグラム 萩野正興(京都大学)
		11:36	M11b Association of Polar Faculae with the Polar Magnetic Patches as Revealed by Hinode Observations Anjali John Kaithakkal (Sokendai/NAOJ)

		3月22日(金) 午後・I会場
11:36	M12b 浮上磁場出現に伴うプラズマ放出現象のコロナアーケード磁場シア角依存性 金子岳史 (東京大学)	14:00 M20a Solar-C 搭載 X 線望遠鏡の検討状況(IV) 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)
11:36	M13b 飛騨天文台 DST 観測によるプロミネンスの磁場診断 澤田真平 (茨城大学)	14:12 M21a ロケット実験 FOXSI による太陽硬 X 線の高感度撮像分光観測 (1) 齊藤新也 (宇宙航空研究開発機構)
11:48	M14b ポストフレアループの多波長分光観測 松井悠起 (東京大学)	14:24 M22a 彩層を理解する: IRIS- ひのでの共同観測と研究計画 岡本文典 (宇宙航空研究開発機構)
11:48	M15b SOHO/LASCO 観測データを用いた SEP 衝突痕検出法 大辻賢一 (国立天文台)	14:36 M23a 若い太陽型星からの恒星風 鈴木 建 (名古屋大学)
	M16c DST および「ひので」SOT による彩層と光球での低温ループ、モスの足元領域の比較 吉田憲悟 (立命館大学)	14:48 M24a ミリ波地上望遠鏡による金星中層大気一酸化炭素の変動の観測的研究 森部那由多 (名古屋大学)
	M17c 光球、彩層同時観測のデータを用いた半暗部形成の詳細解析 渡邊皓子 (京都大学)	15:00 M25a 局所対流ダイナモ: 大局的磁場の周期変動とその物理機構 政田洋平 (神戸大学)
	M18c フレアトリガに関する観測的研究のための Hinode/SOT データの解析手法 伴場由美 (名古屋大学)	15:12 M26a 表面付近を含んだ球殻計算で明らかにする太陽内部熱対流構造 堀田英之 (東京大学)
	M19c 太陽電波 type-II バースト中の微細構造の特性 佐藤伸太郎 (東北大学)	15:24 M27a 回転球殻内の熱対流によって引き起こされる差分回転と角運動量輸送 竹広真一 (京都大学)
		15:36 M28a サイクル 22,23,24 における差動自転(B値)の変化について 鈴木美好
		15:48 M29a 太陽電波強度の周波数特性と電離層への影響 柴崎清登 (国立天文台)

N. 恒星

3月23日(土) 午前・I会場	3月22日(金) 午後・A会場
10:00 M30a 太陽ダイナモ周期活動の南北半球対称性とその破れに関する理論的考察 宿谷大志 (名古屋大学)	14:00 N01a 晩期型星におけるスーパーフレア発生頻度 前原裕之 (東京大学)
10:12 M31a 太陽の極域への磁場輸送の経度依存性について 田中悠基 (京都大学)	14:12 N02a スーパーフレアを起こした太陽型星の高分散分光観測 野津湧太 (京都大学)
10:24 M32a X線ジェットの速度の時間変化 佐古伸治 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)	14:24 N03a スーパーフレア星のリチウム組成 本田敏志 (兵庫県立大学)
10:36 M33a 活動領域における高温コロナプラズマの形成：マイクロフレアの役割 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)	14:36 N04a 太陽分光データを応用したスーパーフレア星の活動領域の面積の推定 野津翔太 (京都大学)
10:48 M34a 活動領域の端からの上昇流の密度 北川直優 (東京大学)	14:48 N05b 太陽型星のスーパーフレア：3年間の継続観測の結果 柴山拓也 (京都大学)
11:00 M35a Hot Reconnection Outflows Associated to an X-class Flare 渡邊鉄哉 (国立天文台)	N06c 全天X線監視装置 MAXI/SSC を用いた星の巨大フレアの探査 比嘉将也 (中央大学)
11:12 M36a 彩層蒸発流の多温度統計解析 青木邦哉 (東京大学)	N07c II Peg フレアの可視光測光・分光観測 秋山昌俊 (中央大学)
11:24 M37a MHD シミュレーションによるフレアリボンとポストフレアループの研究 中村尚樹 (京都大学)	14:48 N08b X線天文衛星で観測した恒星のスペクトル解析 小松飛斗 (立教大学)
11:36 M38a H α フレアカーネルにおけるプラズマ診断と高エネルギー粒子の運動 川手朋子 (京都大学)	14:48 N09b 恒星の脈動と対流の相互作用 園井崇文 (東京大学)
11:48 M39a 2011年12月25日に起きたフィラメント消失 / 噴出現象の多波長観測(2) 矢治健太郎 (立教大学)	15:00 N10a 回転星の脈動のロゼット・モードについて 高田将郎 (東京大学)
	N11c 特異な二重周期セファイド V371 Per の線形非断熱モデルによる検討 石田俊人 (兵庫県立大学)
	15:12 N12a CEMP-no 星の起源 須田拓馬 (国立天文台)
	15:24 N13a 超金属欠乏星における連星の割合 青木和光 (国立天文台)

	<p>15:36 N14a 近赤外域 C_I 1.068–1.069 μm 線に基づく金属欠乏星の炭素組成決定 竹田洋一 (国立天文台)</p> <p>15:48 N15a post-AGB 星 CRL2688 の高分散分光データにもとづく化学組成解析 石垣美歩 (国立天文台)</p> <p>16:00 N16b triple-α 反応率の不定性が大質量星の元素組成に与える影響 菊池之宏 (九州大学)</p> <p>N17c AGB 星における C/O 値の初期質量及び初期金属量に対する依存性 田染翔平 (北海道大学)</p>	<p>3月23日(土) 午前・A会場</p> <p>10:00 N18a 赤色超巨星 S Per の VLBI 観測による水メーザーの長期変動 楠野こず枝 (総合研究大学院大学)</p> <p>10:12 N19a 「宇宙の噴水」に見られる AGB 星フローまたは「赤道流」 今井 裕 (鹿児島大学)</p> <p>10:24 N20a Dust shell around WISE J180956.27–330500.2 山村一誠 (宇宙航空研究開発機構)</p> <p>10:36 N21a 双極状惑星状星雲の低温ダストの中心集中 浅野健太郎 (東京大学)</p> <p>10:48 N22a ミラ型変光星 T Col に見られたシリケート形成活性化の兆候 上塚貴史 (東京大学)</p> <p>11:00 N23a The detection of C_{60} in the well-characterized planetary nebula M1–11 大塚雅昭 (ASIAA)</p> <p>11:12 N24a セファイド変光星の脈動サイクルと変光曲線形状に関する考察 松永典之 (東京大学)</p> <p>11:24 N25a 近赤外狭帯域フィルターによる銀河中心大質量星クラスターの撮像観測：輝線天体の検出 高橋英則 (東京大学)</p> <p>11:36 N26a 近赤外狭帯域フィルターによる銀河中心大質量星クラスターの撮像観測：減光分布と極めて赤い天体の検出 田中培生 (東京大学)</p>
--	---	--

P. 星・惑星形成

3月20日(水) 午後・C会場		3月21日(木) 午前・C会場	
13:00	P01a NH ₃ 分子輝線を用いた馬頭星雲のマップング観測 大橋聡史 (東京大学)	10:00	P14a Tentative Detection of Deuterated Methane toward Low-Mass Protostar IRAS04368+2557 in L1527 坂井南美 (東京大学)
13:12	P02a スーパージャイアントシェル LMC 4 内 HII 領域、N 55 に附随する分子雲と星形成 河村晶子 (国立天文台)	10:12	P15a Abundant CH ₃ OH in the Cold Starless Core TMC-1 相馬達也 (東京大学)
13:24	P03a S247,S252,BFS52 領域の星団形成 下井倉ともみ (東京学芸大学)	10:24	P16a Systematic differences of excitation temperatures between DNC and HN ¹³ C 西村優里 (東京大学)
13:36	P04a へびつかい座 ρ 分子雲の星無しコアに対する物理量の統計的調査 大友雄造 (東京大学 / 国立天文台)	10:36	P17a EAVN による 6.7GHz メタノール・メーザーの VLBI サーベイ III : 2010-2012 年間における内部固有運動議論 その 1 杉山孝一郎 (山口大学)
13:48	P05a CygOB7 分子雲の巨大分子雲コアと衝突するフィラメント群の発見 土橋一仁 (東京学芸大学)	10:48	P18a 星形成領域 NGC2264C の VLBI 観測と class0 天体に付随するX線源の発見 亀崎達矢 (鹿児島大学)
14:00	P06a 乱流と降着流をもった分子雲における集団的星形成 松本倫明 (法政大学)	P19c G33.64-0.21 と IRAS 22198+6336 で観測された 6.7GHz メタノール・メーザーのバースト 藤沢健太 (山口大学)	
14:12	P07a 分子雲衝突による巨大星団形成の誘起 福井康雄 (名古屋大学)	P20c EAVN による 6.7GHz メタノール・メーザーの VLBI サーベイ IV ~ G8.683-0.368 における内部固有運動の計測~ 齋藤貴文 (茨城大学)	
14:24	P08a ENZO code による分子雲衝突の 3次元高解像度数値シミュレーション II 羽部朝男 (北海道大学)	P21c M17SW の NH ₃ 輝線と H ₂ O メーザーの観測 馬場達也 (鹿児島大学)	
14:36	P09a 分子雲衝突による大質量星コア形成の3次元シミュレーション 井上剛志 (青山学院大学)	11:00	P22a Near-Infrared Linear and Circular Polarimetry in Star Forming Regions Jungmi Kwon (NAOJ/GUAS)
14:48	P10a フィラメント状分子雲の重力収縮とその分裂 鐵紘由紀 (東京工業大学)	11:12	P23a Haro 6-33 に付随する原始惑星系円盤の運動 麻生有佑 (東京大学)
15:00	P11b 2 Micron All Sky Survey に基づく近赤外線クラスターの全天探査 西村美紀 (東京学芸大学)	11:24	P24a 銀河系内縁部における中質量星の原始惑星系円盤の寿命 安井千香子 (東京大学)
15:00	P12b 高銀緯分子雲 HLCG92-35 に対する T Tauri 型星の探査 大島吾一 (埼玉大学)		
15:00	P13b へびつかい座分子雲 L1709 領域における若い惑星質量天体の探査 1 星久樹 (埼玉大学)		

3月21日(木) 午後・C会場		3月22日(金) 午前・C会場	
14:00	P25a すばる望遠鏡戦略観測「SEEDS」による原始惑星系円盤および系外惑星探査Ⅲ 工藤智幸(国立天文台)	10:00	P39a HD 169142 に付随する星周円盤の Subaru/HiCIAO 近赤外撮像観測(2) 百瀬宗武(茨城大学)
14:12	P26a SEEDS による遷移円盤天体ぎょしゃ座 GM 星の高解像度偏光観測 橋本 淳(国立天文台)	10:12	P40a 赤外線散乱光プロファイルから探る原始惑星系円盤の構造 武藤恭之(工学院大学)
14:24	P27a すばる望遠鏡による Upper Sco 星形成領域遷移円盤の近赤外観測 眞山 聡(総合研究大学院大学)	10:24	P41a 原始惑星系円盤中のリング構造形成メカニズムについて 高橋実道(名古屋大学/京都大学)
14:36	P28b Spiral Arms in the Protoplanetary Disk around MWC 758 深川美里(大阪大学)	10:36	P42a 原始惑星系円盤に見られるリング構造の安定性とその進化について 犬塚修一郎(名古屋大学)
14:36	P29b Subaru/HiCIAO による前主系列星 HD 34282 の近赤外線偏光撮像観測 丸田弥生(大阪大学)	10:48	P43a 円盤回転速度の変化を考慮した惑星によるギャップ形成 金川和弘(北海道大学)
14:36	P30b 高分散分光観測によるおうし座分子雲中の円盤進化タイムスケールの解明 高木悠平(兵庫県立大学)	11:00	P44a 原始惑星系円盤の化学進化による円盤風の観測的検証 石本大貴(京都大学)
14:48	P31b すばる望遠鏡を用いた若い超低光度天体の分光観測 高原佑典(埼玉大学)	11:12	P45a 中心星輻射圧による円盤表層部のダストの外向き移動について 田崎 亮(京都大学)
14:48	P32b 原始星の進化とアウトフローの関係 町田正博(九州大学)	11:24	P46a 原始惑星系円盤におけるダストの静的圧縮過程 片岡章雅(総合研究大学院大学/国立天文台)
14:48	P33b 1次元多色輻射輸送モデルによる原始惑星系円盤の振動 原田哲弥(千葉大学)	11:36	P47a 原始惑星系円盤中における固体原始惑星へのダスト・微惑星降着 谷川享行(惑星科学研究センター/北海道大学)
15:00	P34a 遷移円盤の多色輻射モデル 花輪知幸(千葉大学)	11:48	P48a 木星形成に伴う土星の急速な形成 小林 浩(名古屋大学)
15:12	P35a 星周円盤初期進化過程の分類 塚本裕介(名古屋大学)		P49c Shear 不安定の成長率と Richardson 数とダストのサイズ分布 長谷川幸彦(大阪大学)
15:24	P36a 初代星の質量降着期における多様性と初期質量分布 平野信吾(東京大学)	12:00	P50b 層流ガス中の微惑星集積の局所 N 体シミュレーション 道越秀吾(同志社大学)
15:36	P37a 紫外線や宇宙線照射下におけるゼロ金属量星形成シナリオ 仲内大翼(京都大学)	12:00	P51b 逆行惑星系 HAT-P-7 に付随する伴星の発見 成田憲保(国立天文台)
15:48	P38a ダスト成長を考慮した低金属量星形成ガス雲の進化 千秋 元(東京大学)		

12:00	P52b MOA-II による snow line の外側における惑星頻度 鈴木大介 (大阪大学)	3月23日(土) 午前・C会場	
12:12	P53b 生命指標となりうる光合成の光吸収スペクトル帰属についての理論的研究 田口真彦 (筑波大学)	10:00	P64a GJ1214b の多波長トランジット測光観測とその惑星大気組成への示唆 成田憲保 (国立天文台)
3月22日(金) 午後・C会場		10:12	P65a トランジット・スーパーアース GJ3470b に対する可視近赤外同時測光観測 福井暁彦 (国立天文台)
14:00	P54a デブリ円盤天体 HD 15115 の近赤外撮像観測 蔡承亨 (大阪大学)	10:24	P66a 複数惑星系におけるロシター効果と planet-planet eclipse の初検出 平野照幸 (東京大学)
14:12	P55a HD 15407A: An Extreme Debris Disk with Transient Warm Dust 藤原英明 (国立天文台)	10:36	P67a KOI-94 系における惑星食の解析 増田賢人 (東京大学)
14:24	P56a ジャイアントインパクトは見えるのか? ~高温デブリ円盤の直接観測 玄田英典 (東京大学)	10:48	P68a Numerical Study of Spin-orbit Misalignment and Realignment Yuxin Xue (東京大学)
14:36	P57a MOA-II による系外惑星探査: 2012 年の結果 住貴宏 (大阪大学)	11:00	P69a スーパーアースの限界半径と Kepler データの比較 黒崎健二 (東京工業大学)
14:48	P58a MOA-II 望遠鏡を用いた重力マイクロレンズ法による惑星イベントの解析 和田光平 (大阪大学)	11:12	P70a 磁気流体波駆動ガス流によるガス惑星からの質量散逸 田中佑希 (名古屋大学)
15:00	P59a 視線速度法を用いた分光連星系に付随する星周惑星の探査 加藤則行 (神戸大学)	11:24	P71a 惑星視線速度による系外惑星スピンの制限法 河原創 (東京大学)
15:12	P60a すばるアーカイブ画像の詳細解析による太陽系外惑星探査 II 桑田嘉大 (大阪大学)	11:36	P72a 地球照観測から得られた地球の偏光分光特性 高橋隼 (兵庫県立大学)
15:24	P61a 2.5 太陽質量の恒星 κ And を周回する巨大惑星の直接撮像による発見 田村元秀 (国立天文台)	11:48	P73a 吸収線の変動で探る地球型惑星の表層環境 藤井友香 (東京大学)
15:36	P62a 直接撮像法による惑星系まわりの伴星候補天体探査 高橋安大 (東京大学)	12:00	P74a 系外惑星バイオマーカー検出を目指した光合成機構のエネルギー移動計算 小松勇 (筑波大学)
15:48	P63a Solving For The Orbital Elements Of Binary Systems Using Markov Chain Monte Carlo Simulations:2 Kyle Mede (The Univ. of Tokyo)		

Q. 星間現象

3月21日(木) 午後・D会場		3月22日(金) 午前・D会場	
14:00	Q01a NANTEN2 Super CO survey (NASCO) 2012年度の観測成果 早川貴敬(名古屋大学)	10:00	Q12a X-ray View of the H α /HI Tails in the Virgo Cluster Gu Liyi (University of Tokyo)
14:12	Q02a Mopra 望遠鏡を用いた M20 分子雲衝突に関する高分解能多輝線観測 II 長谷川敬亮(名古屋大学)	10:12	Q13a MAXI/SSC を用いた銀河中心方向に見える diffuse emission の解析 木村 公(宇宙航空研究開発機構)
14:24	Q03a L1147 の観測から考える初期分子雲の化学進化 鈴木大輝(総合研究大学院大学)	10:24	Q14a 銀河リッジX線は星フレアを主とする複合起源か? 松岡 勝(理化学研究所)
14:36	Q04a NANTEN2 の広域観測による Central Molecular Zone の詳細解析 II 榎谷玲依(名古屋大学)	10:36	Q15a 「宇宙X線トモグラフィ」を用いた天の川銀河中心領域の巨大分子雲の三次元位置と Sgr A* の過去の活動性の解明 鶴 剛(京都大学)
14:48	Q05a 二重らせん星雲に付随する分子タワー形成の3次元磁気流体数値実験 朝比奈雄太(千葉大学)	10:48	Q16a 銀河系中心から南北に伸びる双極状X線放射の発見 中島真也(京都大学)
15:00	Q06a 国土地理院つくば 32m 電波望遠鏡によるアンモニア分子反転遷移輝線の銀河系中心領域広域サーベイ観測 荒井 均(筑波大学)	11:00	Q17a 「すざく」衛星によるフェルミ・バブルのX線探査 田原将也(早稲田大学)
15:12	Q07a Tornado Nebula に付随する拡散 OH 1720 MHz 輝線放射の発見 酒井大裕(慶應義塾大学)	11:12	Q18b X線天文衛星すざくおよびチャンドラを用いた小マゼラン星雲中の超新星残骸 0049-73.6 と 0103-72.6 の観測 甲斐春菜(宮崎大学)
15:24	Q08a 熱不安定への異常輸送の効果 釜谷秀幸(防衛大学校)	11:12	Q19b X線衛星「すざく」による超新星残骸 IC443 の観測 大西隆雄(京都大学)
15:36	Q09b ALMA science verification data を用いた Orion KL でのギ酸メチルの空間分布 酒井祐輔(富山大学)		Q20c 超新星残骸 G346.6-0.2 からの再結合優勢プラズマの発見 山内茂雄(奈良女子大学)
15:36	Q10b NANTEN 銀河面サーベイによる銀系 205-280 度の分子雲調査 早川貴敬(名古屋大学)		Q21c 超新星残骸において加速された二次生成陽電子の逃走とそのスペクトル 川中宣太(Racah Institute of Physics, The Hebrew Univ.)
15:36	Q11b 銀河中心ローブにおける電波連続波と電波再結合線の分布の差 名越 遥(山口大学)		

3月22日(金) 午後・D会場		3月23日(土) 午前・D会場	
14:00	Q22a 過電離プラズマモデルを用いた超新星残骸 W49B のスペクトル解析 南 沙里 (奈良女子大学)	10:00	Q33a 「あかり」と気球望遠鏡による星形成領域 RCW38 の PAH 放射・[CII] 輝線マッピング 金田英宏 (名古屋大学)
14:12	Q23a 超新星残骸 3C 397 の広がったクロム、マンガン、鉄、ニッケル輝線の起源 菅原隆介 (京都大学)	10:12	Q34a 「あかり」遠赤外線拡散光全天マッピング XI (画像クオリティの詳細評価) 土井靖生 (東京大学)
14:24	Q24a Ia 型超新星残骸 SN1006 の爆発噴出物の非対称分布 内田裕之 (京都大学)	10:24	Q35a 「あかり」衛星による我々の銀河系内の HII 領域の星間物質の近赤外分光観測 森 珠実 (東京大学)
14:36	Q25a Mixed-morphology 型超新星残骸の非熱的粒子 清水崇文 (首都大学東京)	10:36	Q36a 中間赤外分光観測に基づく NGC 2023 における炭素質ダストの特異性 佐藤一輝 (東京大学)
14:48	Q26a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡によって捕えられた超新星残骸における陽子加速の証拠 田中孝明 (京都大学)	10:48	Q37a SPICA 搭載中間赤外線撮像分光装置 (MCS) の撮像フィルターに対する星間物質サイエンスからの仕様要求とその検討 左近 樹 (東京大学)
15:00	Q27a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による超新星残骸 W28 周辺領域の観測 花畑義隆 (広島大学)	11:00	Q38a GIGMICS を用いた惑星状星雲 NGC7027 の中間赤外高分散分光観測 II 青木慶伸 (名古屋大学)
15:12	Q28a 系外超新星からの非熱放射で探る宇宙線電子加速機構 前田啓一 (東京大学)	11:12	Q39a 宇宙環境における炭素質ダスト進化過程の実験的検証 木村誠二 (電気通信大学)
15:24	Q29a 「すざく」による逃亡星 BD+43 3654 における粒子加速の探査 寺田幸功 (埼玉大学)	11:24	Q40a SDSS 銀河のスタック解析による遠赤外放射の統計的定量化 柏木俊哉 (東京大学)
15:36	Q30a 電波連続波による TeV γ 線超新星残骸 HESS J1731-347 の高分解能観測 福田達哉 (名古屋大学)		
15:48	Q31a 若い TeV ガンマ線超新星残骸における星間ガスと X 線放射 佐野栄俊 (名古屋大学)		
16:00	Q32a Middle-aged SNR における星間ガスとガンマ線放射及び加速宇宙線エネルギー 吉池智史 (名古屋大学)		

R. 銀河

3月21日(木) 午前・E会場	
10:00	R01a VERAによる銀河系スーパーバブル領域の絶対固有運動測定 坂井伸行(総合研究大学院大学/国立天文台)
10:12	R02a VERAによる星形成領域 IRAS20126+4104の位置天文観測 永山 匠(国立天文台)
	R03c VERAによる10kpcを超える遠方天体 IRAS18553+0414の距離測定 宮崎竜乃介(鹿児島大学)
	R04c VERAによる星形成領域 IRAS18563+0428の水メーザー観測 吉田友哉(鹿児島大学)
	R05c VERAによる星形成領域 CepBに付随するH ₂ Oメーザー源 IRAS22555+6213の距離測定 坂之上裕史(鹿児島大学)
10:24	R06a 一酸化硅素メーザーを用いた近傍渦状腕付近の動力学への制限 坂本 強(日本スペースガード協会)
10:36	R07a 高銀緯のファラデー回転測度とSKA計画 赤堀卓也(シドニー大学)
10:48	R08b 非熱的粒子を考慮した磁気回転・パーカー不安定性の磁場増幅と飽和の影響 工藤祐己(千葉大学)
10:48	R09b 銀河系外縁部におけるCO-to-H ₂ 変換係数の算出 松尾光洋(鹿児島大学)
10:48	R10b 星生成史に基づいた化学進化モデルによる矮小楕円体銀河の金属量分布と元素組成比の解析 本間英智(東北大学)
	R11c 矮小衛星銀河における多重潮汐腕の形成について 穂積俊輔(滋賀大学)
11:00	R12a あかり大マゼラン雲赤外線点源カタログ I. 測光カタログ 加藤大輔(科学技術振興機構)
11:12	R13a あかり大マゼラン雲赤外線点源カタログ II. 分光カタログ 下西 隆(神戸大学)
	R14c 多視線高分散分光観測によるマゼラニックブリッジの3次元マッピング 三澤 透(信州大学)
11:24	R15b HSCを用いたアンドロメダ銀河ハロー観測におけるNB515フィルターの有効性 田中幹人(東北大学)
11:24	R16b NRO M33 All Disk Survey of Giant Molecular Clouds (MAGiC) 濤崎智佳(上越教育大学)
11:24	R17b 紫外線、赤外線でみた近傍銀河の星形成とダスト減光に関する研究 櫻井 茜(名古屋大学)
11:36	R18a アンドロメダストリームの非対称構造と母矮小銀河内部構造の関係 桐原崇亘(筑波大学)
11:48	R19a アンドロメダ銀河ダークハローの大局構造 林 航平(東北大学)
	R20c 銀河潮汐場中の球状星団の質量損失とFokker-Planckモデル: 銀河ポテンシャルと質量スペクトルの影響 高橋広治(埼玉工業大学)

3月21日(木) 午後・E会場		
14:00	R21a Spectral Line Survey toward GMCs in M51 渡邊祥正 (東京大学)	15:48 R32a 近傍高光度赤外線銀河の $^{12}\text{CO}(J=1-0)$ 輝線サーベイ 山下拓時 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
14:12	R22a The evolution of the GMCs in the barred galaxy M83 藤本裕輔 (北海道大学)	R33c 大質量ブラックホールを含む天体における $M-\sigma$ 関係 立川崇之 (福井大学)
14:24	R23a 星形成と星間物質の基本平面の発見 小麥真也 (国立天文台)	
14:36	R24a 近傍銀河星間ガス水素原子-分子ガス相転移のモデル検証 田中亜矢子 (鹿児島大学)	
	R25c SDSS データによるエッジオン / フェイスオン近傍銀河の箱型 / バー構造の統計的研究 吉野 彰 (宇宙航空研究開発機構)	
	R26c 銀河の Inner Truncated Disc の統計的性質 II. バー構造とガス 隈井泰樹 (熊本学園大学)	
14:48	R27a すざく衛星による楕円銀河の重元素組成比の調査 小波さおり (東京理科大学 / 理化学研究所)	
15:00	R28a 赤外線天文衛星「あかり」近赤外線分光で探る早期型銀河中の活動銀河核 大藪進喜 (名古屋大学)	
15:12	R29a 「あかり」IRC, FIS を用いたコンパクト銀河群 HCG56 における星間物質環境の研究 吉田拓馬 (東京大学)	
15:24	R30a 「あかり」IRC による特異銀河 NGC 2782 の近・中間赤外線撮像観測 中村友彦 (東京大学)	
15:36	R31a 「あかり」近赤外線分光観測による超高光度赤外線銀河の星形成率測定 矢野健一 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	

S. 活動銀河核

3月20日(水) 午後・I会場		3月21日(木) 午前・I会場	
13:00	S01a AGNの輻射にさらされたガス雲の輻射流体計算 行方大輔(筑波大学)	10:00	S11a LINER中心核の間接的UV光度評価 尾崎忍夫(国立天文台)
13:12	S02a MAGNUMプロジェクト:近傍セイファート銀河における近赤外変光成分カラーの時間変化 越田進太郎(Universidad Católica de Chile)	10:12	S12a Ionization structure of the warm absorber of NGC 5548 瀬田裕美(立教大学)
13:24	S03a NGC 3079の広帯域X線観測による年単位の光度変動 吉川英文(理化学研究所/東京理科大学)	10:24	S13a 降着円盤風を持つクェーサーに付随するFR II型電波銀河の探索 林隆之(東京大学)
13:36	S04a 硬X線-赤外線全天サーベイカタログに基づく近傍の活動銀河核の系統的研究 松田桂子(総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構)	10:36	S14b ラインフォース駆動型円盤風モデルによる活動銀河核吸収線の起源の解明 野村真理子(お茶の水女子大学)
13:48	S05a WISE衛星による活動銀河核ダストौरスの光度および赤方偏移依存性の検証 鳥羽儀樹(総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構)	10:36	S15b クェーサー光度とアウトフローガスに見られる時間変動の相関関係 堀内貴史(信州大学)
14:00	S06a WISE衛星初期公開データを用いた中間赤外線選択クェーサー探査Ⅱ:すばる望遠鏡/FMOSを用いた予備的分光同定観測 青木賢太郎(国立天文台)	10:36	S16b 相対論的Shear flow起源の乱流場における粒子加速 小尾善男(東京工業大学)
14:12	S07a 3年間のデータに基づくMAXI/GSC高銀緯天体カタログ第二版の作成 廣井和雄(京都大学)	10:48	S17a 多周波VLBA観測から分かるNGC 4261パーセクスケールジェットの形状 羽賀崇史(総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構)
14:24	S08a MAXIによるAGNの3年間のX線光度変動の調査 佐藤良祐(京都大学)	11:00	S18a 活動銀河におけるサブミリ波帯H ₂ Oメーザー探査 萩原喜昭(国立天文台)
14:36	S09a 「すざく」によるセイファート銀河NGC 4151の明暗状態の比較 表尚平(東京大学)	11:12	S19a IRSFを用いたSgr A*の近赤外線モニター観測計画 西山正吾(国立天文台)
14:48	S10a 電波強度の強い狭輝線1型セイファート銀河RX J1633+4718のすざく、かなた、VLBIによる多波長準同時観測(2) 高橋宏明(大阪大学)	11:24	S20a 突発天体Swift J1644+57の再バースト予測-リミットサイクル・シナリオの提案- 川島朋尚(上海天文台)
		11:36	S21a 軌道面傾斜角を持つ外周円盤からのバイナリーブラックホールへの降着流 斉藤秀樹(長野市立博物館)
		11:48	S22a z~3のQSOで探る超巨大ブラックホールと母銀河の共進化 濟藤祐理子(総合研究大学院大学)

T. 銀河団

			3月20日(水) 午後・E会場
	S23c ALMA cycle-0 で捉えたソンプレロ銀河 (M104) の超巨大質量ブラックホール周辺 10 シュバルツシルト半径付近からの電波放射 土居明広 (宇宙航空研究開発機構)		13:00 T01a 銀河団コアの宇宙線加熱の安定性 藤田 裕 (大阪大学)
			13:12 T02a 「すざく」衛星による新しい銀河団候補 Suzaku J1759-3450 の発見 森 英之 (宇宙航空研究開発機構)
			13:24 T03a すざく衛星による近傍銀河団のガスバルク運動の探査 吉田浩子 (奈良女子大学)
			13:36 T04a 「すざく」から求めた銀河団の静水圧質量と重力レンズ質量との比較 市川和也 (東京理科大学)
			13:48 T05a 重力レンズ3点相関関数を用いた X 線銀河団の暗黒物質の形状の制限 峯尾聡吾 (東京大学)
			14:00 T06a シミュレーションによる銀河団静水圧平衡の検証と質量推定の系統誤差 II 須藤大地 (東京大学)
			14:12 T07a すざく衛星による遠方の衝突銀河団 A2744 のフィラメント領域の観測 茨木優希子 (奈良女子大学)
			14:24 T08a 銀河団の化学進化の解明を目指した「すざく」で観測された重元素量と宇宙論的シミュレーションで予測される重元素量の比較 佐藤浩介 (東京理科大学)
			14:36 T09a 銀河群の $\sim 0.5 r_{180}$ までの重元素・エントロピー分布 佐々木 亨 (東京理科大学)
			14:48 T10a 「すざく」による M87 の重元素分布の観測 飯島律子 (首都大学東京)
			15:00 T11a Perseus cluster のヴィリアル半径までの重元素質量 / 銀河光度比 松下恭子 (東京理科大学)
	3月21日(木) 午後・I会場		
14:00	S24a すざく、フェルミによる Extreme Blazar 候補 HESS J1943+213 の X 線ガンマ線観測 田中康之 (広島大学)		
14:12	S25a ブレーザーの可視偏光モニターによる変動タイムスケールの調査 笹田真人 (京都大学)		
14:24	S26a ブレーザー BL Lac の可視光偏光モニター：偏光の長期的な減衰 先本清志 (広島大学)		
14:36	S27a ブレーザー天体 CTA 102 の多波長光度・色・偏光短期変動観測 伊藤亮介 (広島大学)		
14:48	S28a ブレーザー放射スペクトルのフェルミ二次加速モデル 浅野勝晃 (東京工業大学)		
15:00	S29a フェルミ衛星による radio-quiet Seyfert “Circinus Galaxy” からの高エネルギーガンマ線放射の観測 林田将明 (京都大学)		
15:12	S30a 最高エネルギー宇宙線加速源候補天体のフェルミ衛星によるガンマ線観測 福田愛璃紗 (茨城大学)		
15:24	S31b AGN の反射成分を用いたトラス構造の推定 林 数馬 (広島大学)		
15:24	S32b MAXI による AGN・コンパクト星のパワースペクトル 杉本樹梨 (理化学研究所 / 立教大学)		

U. 宇宙論

15:12	<p>T12b Chandra Observational Constraints on the X-ray Mass-Temperature Relation of Galaxy Clusters and Groups out to $z \sim 1.4$ Jingying Wang (Shanghai Jiao Tong Univ.)</p> <p>T13c XMM-Newton 衛星を用いた低表面輝度銀河団 A1631 のエントロピー測定 藤野遙子 (奈良女子大学)</p> <p>T14c Paα 撮像による $z=0.23$ 銀河団内のダストに埋もれた星形成活動 嶋川里澄 (総合研究大学院大学)</p>	<p>3月22日(金) 午前・E会場</p> <p>10:00 U01a 熱力学的視点から見たエントロピーカに基づく加速膨張モデル 小松信義 (金沢大学)</p> <p>10:12 U02a 21cm 線放射の観測による初期パワースペクトルの精密測定 大山祥彦 (総合研究大学院大学)</p> <p>10:24 U03a 高赤方偏移 21cm 電波吸収観測による小スケール密度揺らぎの探査 島袋隼士 (名古屋大学)</p> <p>10:36 U04a Simulation and Separation for Signals in Low-Frequency Radio Sky Jingying Wang (Shanghai Jiao Tong Univ.)</p> <p>10:48 U05a 階層ベイズ法を用いた宇宙マイクロ波背景放射偏光 B モード成分の高精度分離スキームの開発 森嶋隆裕 (東北大学)</p> <p>11:00 U06a CMB 地上実験 POLARBEAR の観測及び解析の現状について 松村知岳 (高エネルギー加速器研究機構)</p> <p>11:12 U07a QUIET 実験の 95 GHz 帯における観測結果 永井 誠 (筑波大学)</p> <p>11:24 U08b 赤方偏移空間上の銀河分布の歪度を用いた初期非ガウス性の制限 新田大輔 (東北大学)</p> <p>11:24 U09b SKA 時代のファラデーモグラフィが暴く宇宙磁場 赤堀卓也 (シドニー大学)</p> <p>11:24 U10b Note on the perihelion advance due to cosmological constant 荒木田英禎 (岩手大学)</p> <p>U11c 21cm 線マップへの弱重力レンズ効果の影響 竹内良貴 (名古屋大学)</p> <p>U12c HSC 弱い重力レンズによる観測領域の形状の影響について 相馬俊二 (弘前大学)</p>
-------	---	--

11:36	U13a 宇宙背景放射とオールトの雲 新村公剛(新村公剛公認会計士事務所)	15:24	U25a N体シミュレーションを用いた SDSS LRG 非等方クラスタリングの再現とロバストな重力理論の検証 岡 アキラ (東京大学)
11:48	U14a 宇宙膨張論の検証 XX 空間膨張宇宙ならば (1) 深宇宙は見えない 阿武靖彦	15:36	U26a CFHTLens データによる SDSS-I/II LRGs および SDSS-III CMASS 銀河の弱重力レンズ効果測定 宮武広直 (Princeton University)
12:00	U15a ダークマターの生成とダークマターの数とダークマターのエネルギー 小堀しづ	3月23日(土) 午前・E会場	
12:12	U16b 現代のダークマターの状態とアンドロメダの軌道の速度とダークマター数と1束の磁気的光子のエネルギーの関係 小堀しづ	10:00	U27a Using lensing and cross correlations to correct the Finger-of-God 日影千秋 (名古屋大学)
	U17c 宇宙におけるダークマターの状態の変化 小堀しづ	10:12	U28a Connecting luminous red galaxies to central and satellite subhalos 正木彰伍 (名古屋大学)
3月22日(金) 午後・E会場		10:24	U29a 弱い重力レンズ場バイスペクトルトモグラフィ 加用一者 (東邦大学)
14:00	U18a ラグランジュ画像に基づいたバリオン音響ピークに対する smearing の理解 岡村雅普 (東北大学)	10:36	U30a 大規模重力レンズシミュレーションプロジェクト 浜名 崇 (国立天文台)
14:12	U19a 銀河分布の非等方相関とバリオン音響振動 片岡明日香 (名古屋大学)	10:48	U31a Weak lensing by line-of-sight halos as the origin of flux-ratio anomalies in quadruply lensed QSOs 井上開輝 (近畿大学)
14:24	U20a ダークマター非線形進化における、修正摂動論の適用 杉山尚徳 (東北大学)	11:00	U32a Weak lensing by line-of-sight halos as the origin of flux-ratio anomalies in quadruply lensed QSOs II 高橋龍一 (弘前大学)
14:36	U21a 有限の質量の粒子に崩壊する暗黒物質の寿命の大規模構造形成からの制限 青山尚平 (名古屋大学)	11:12	U33a 広帯域電波観測による銀河間磁場の観測可能性 出口真輔 (熊本大学)
14:48	U22a Gamma-ray background anisotropy from dark matter annihilation Shin'ichiro Ando (Univ. Amsterdam)		
15:00	U23a stacking analysis for detecting the ISW effect at the local Universe 西澤 淳(カブリ数物連携宇宙研究機構)		
15:12	U24a N体シミュレーションを用いた線形成長率 $f\sigma_8$ の評価法の開発 石川敬視 (京都大学)		

V. 地上観測機器

3月21日(木) 午前・G会場			
10:00	V01b SOLAR-C 大型紫外可視近赤外線観測望遠鏡 (SUVIT) の設計進捗状況 末松芳法 (国立天文台)	11:12	V12a すばる望遠鏡観測装置 MOIRCS の検出器における非線形性とその補正 田中 壱 (国立天文台)
10:00	V02b 太陽フレア望遠鏡における長時間連続データ取り込みのための自動制御・予測制御 花岡庸一郎 (国立天文台)	11:24	V13b MOIRCS 用マイクロレンズアレイ面分光ユニットの検討 石垣 剛 (岩手大学)
10:00	V03b 明野 50cm 可視光望遠鏡の 2012 年度運用実績 齊藤嘉彦 (東京工業大学)	11:24	V14b FOCAS 用イメージスライサー型面分光ユニットの開発 進捗状況 尾崎忍夫 (国立天文台)
10:12	V04a TAO 計画の進捗 吉井 讓 (東京大学)	11:24	V15b 融着ファイバーバンドルを用いた可視光面分光装置の開発 松林和也 (京都大学)
10:24	V05a チベット西部域における光赤外線天体観測環境調査 (VI) 佐々木敏由紀 (国立天文台)	11:36	V16a すばる次世代広視野補償光学：地表層補償光学系シミュレーション II 大屋 真 (国立天文台)
10:36	V06a 可視赤外線同時カメラ HONIR と近赤外線読みだしボードの開発 宇井崇紘 (広島大学)	11:48	V17a 地球型惑星検出のためのすばる赤外線ドップラー分光器 IRD の開発：5 小谷隆行 (国立天文台)
10:48	V07b 中間赤外線観測装置における極低温パッファのための市販 FET 特性評価 岡田一志 (東京大学)	12:00	V18b 赤外ドップラー分光器の光ファイバーリンクと光周波数コム較正光源 (4) 西川 淳 (国立天文台 / 総合研究大学院大学)
	V08c 完全空乏型 CCD を用いた TDI 観測：人工天体観測への応用 奥村真一郎 (日本スペースガード協会)	12:00	V19b 可視光 - 近赤外狭帯域チューナブルフィルターの開発 木村剛一 (京都大学)
10:48	V09b 可視光ファブリ・ペロー分光撮像装置の開発：試験観測 橋場康人 (東京大学)		V20c 科学分野向けの基本ライブラリ“SLLIB”の開発・公開 山内千里 (国立天文台 / 宇宙航空研究開発機構)
10:48	V10b 可視1露出型偏光撮像器 HOWPol の開発：(7) 器械偏光の特性 川端弘治 (広島大学)		
11:00	V11a 中間赤外線金属メッシュフィルタの開発 酒向重行 (東京大学)		

3月21日(木) 午後・G会場		3月22日(金) 午前・G会場	
14:00	V21a ALMA の建設(18)と運用(2) 井口 聖 (国立天文台)	10:00	V33a きゃらばん・サブ、2013 年春現況 三好 真 (国立天文台)
14:12	V22a 光学ポインティング測定システム及び角度 検出器を用いた高精度な Pointing error 測 定による ALMA ACA アンテナの性能評価 松澤 歩 (総合研究大学院大学)	10:12	V34a ペルー・ボリビア山岳地域におけるサ ブミリ波 VLBI 観測適地のサーベイ 古澤純一 (慶應義塾大学)
14:24	V23a ALMA Band10 受信機開発進捗状況(XIII) 金子慶子 (国立天文台)	10:24	V35a 南極サブミリ波望遠鏡の電気系統の 設計と評価試験 齋藤浩太 (筑波大学)
14:36	V24a ALMA 偏波観測機能の科学評価活動 報告(3) 中西康一郎 (国立天文台)	10:36	V36a 南極 30cm 可搬式サブミリ波望遠鏡搭 載用 2SB 受信機の開発 長崎岳人 (筑波大学)
14:48	V25a ALMA : 干渉計位相補正の現状と課題 朝木義晴 (宇宙航空研究開発機構)	10:48	V37b 南極 30cm 可搬型サブミリ波望遠鏡ア ライメント調整法の開発 今田大皓 (筑波大学)
15:00	V26a ALMA データ・アーカイブの現在の状 況および今後の予定 森田英輔 (国立天文台)	10:48	V38b オフセット・カセグレン / グレゴリアン 式望遠鏡のポインティング模型の新しい 定式化 永井 誠 (筑波大学)
15:12	V27a ALMA-JVO デスクトップビューア Vissage の開発 2. 川崎 渉 (国立天文台)	10:48	V39b きゃらばんによるブラックホール解像 simulation 三好 真 (国立天文台)
15:24	V28a 1.5 THz 帯拡散冷却型 NbTiN HEB ミク サの開発 椎野竜哉 (東京大学)	11:00	V40a 太陽系惑星大気監視 SPART 望遠鏡 の進捗・計画 前澤裕之 (大阪府立大学)
15:36	V29a 野辺山 45 m 鏡用 100 GHz 帯 2 ビー ム両偏波・2SB 受信機の実用化 中島 拓 (名古屋大学)	11:12	V41a 1.85m 電波望遠鏡プロジェクトの開発 進捗(V) 西村 淳 (大阪府立大学)
15:48	V30b 野辺山 45m 電波望遠鏡搭載 45GHz 帯冷却受信機の開発 高津 湊 (大阪府立大学)	11:24	V42b 1.85 m 電波望遠鏡搭載 230 GHz 帯両 偏波 2SB 受信機システムの開発 徳田一起 (大阪府立大学)
15:48	V31b 野辺山 45m 電波望遠鏡に搭載する新 マルチビーム受信機「FOREST」開発 の進捗 3 古家野 誠 (大阪府立大学)	11:24	V43b 惑星大気監視プロジェクト SPART の ための、Linux/Python を用いた単一 鏡観測プログラムの開発 西村 淳 (大阪府立大学)
15:48	V32b 野辺山 45m 電波望遠鏡に搭載する新マ ルチビーム受信機「FOREST」開発の進 捗 4 : 自動チューニングシステムの開発 馬路博之 (大阪府立大学)	11:24	V44b ALMA コミッショニング : 単一鏡観測 小麥真也 (国立天文台)

		3月22日(金) 午後・G会場
11:36	V45b ハイブリッドカプラ及び BPF を用いた 新型 SSB ミクサの提案 長谷川 豊 (大阪府立大学)	14:00 V55a AI 膜超伝導共振器を用いた 1000 素 子ミリ波カメラの開発 新田冬夢 (筑波大学)
11:36	V46b 高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の整備 状況 (8) 米倉覚則 (茨城大学)	14:12 V56a 広視野ミリ波・サブミリ波カメラの冷却 光学系設計 関口繁之 (東京大学)
11:36	V47b 茨城 32 m 鏡搭載用 22 GHz 帯冷却 受信機の開発 森 智彦 (茨城大学)	14:24 V57a CMB 偏光地上観測にむけた高速回転 できる冷却システムの開発 小栗秀悟 (高エネルギー加速器研 究機構)
11:48	V48b JAXA 臼田 10m アンテナ 22GHz 帯化 計画進捗 森光智千 (東京大学)	14:36 V58a NANTEN2 マルチビーム受信機の光学 系設計 桑原利尚 (名古屋大学)
11:48	V49b 北海道大学苫小牧 11m 電波望遠鏡に おける自動観測システムの構築 南原甫 (北海道大学)	14:48 V59a 広帯域受信電波望遠鏡 (パラボラア ンテナ) の開発 福崎順洋 (国土交通省国土地理院)
11:48	V50b 未同定 γ 線源の対応電波源サーベイ による光結合 VLBI の性能評価1 新沼浩太郎 (山口大学)	15:00 V60a 一般の木造家屋における PLC 漏洩電 界強度計測実験 中城智之 (福井工業大学)
12:00	V51b 広帯域フィードの開発 (IV) 氏原秀樹 (情報通信研究機構)	15:12 V61a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の建 設・設計状況 三代木伸二 (東京大学 /KAGRA Collaboration)
12:00	V52b GASKAP に向けたメーザー源同定シ ミュレーションその1 今井 裕 (鹿児島大学)	15:24 V62a KAGRA 用防振装置の開発 高橋竜太郎 (国立天文台)
12:00	V53b VERA 望遠鏡搭載 86GHz 帯受信機の 検討 木村公洋 (大阪府立大学)	15:36 V63a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の補 助光学系の開発 II 阿久津智忠 (国立天文台)
	V54c 山口 32m 電波望遠鏡搭載 6.5-8.8GHz 帯冷却受信機システムの整備 木村篤志 (山口大学)	15:48 V64a Hilbert-Huang 変換を用いた重力波の データ解析 大原謙一 (新潟大学)

W. 飛翔体観測機器

3月23日(土) 午前・G会場		3月20日(水) 午後・F会場	
10:00	V65a TMT 計画 - その概要と国際状況 家 正則 (国立天文台)	13:00	W01a 次世代赤外線天文衛星 SPICA の現状 : リスク低減フェーズ 1 の終了 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)
10:12	V66a TMT 計画 - 超大型望遠鏡本体の設計・検討 白田知史 (国立天文台)	13:12	W02a SPICA 搭載観測装置の検討状況概要 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)
10:24	V67a TMT 計画 - 主鏡フルサイズセグメント鏡の試作 III 山下卓也 (国立天文台)	13:24	W03b SPICA リスク低減フェーズにおける望遠鏡関連の活動状況について 川田光伸 (宇宙航空研究開発機構)
10:36	V68a TMT 計画 - 観測装置計画の現状 柏川伸成 (国立天文台)	13:24	W04b 次世代赤外線天文衛星 SPICA のコンタミネーション管理 磯部直樹 (宇宙航空研究開発機構)
10:48	V69a TMT 第一期観測装置 IRIS 撮像系の開発 鈴木竜二 (国立天文台)	13:24	W05b A SPICA far-IR imaging spectrometer SAFARI - current development status and expected scientific capabilities 土井靖生 (東京大学)
11:00	V70a 高コントラスト観測のための波面測定・制御方式の構築 松尾太郎 (京都大学)	13:36	W06a SPICA 搭載中間赤外線分光撮像装置の進捗報告 (2013 春) 片坐宏一 (宇宙航空研究開発機構)
11:12	V71a MAGIC 報告 13: MAGIC-I 望遠鏡のアップグレード及び新型アナログ Sum トリガーの開発 中嶋大輔 (Max-Planck-Institut für Physik)	13:48	W07a Current Status of the Development of SPICA/FPC Jeonghyun Pyo (Korea Astronomy and Space Science Institute)
11:24	V72a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画 : 全体報告 手嶋政廣 (東京大学)	14:00	W08a SPICA コロナグラフ装置 (SCI) の現状 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)
11:36	V73a CTA 大口径望遠鏡カメラの開発 上野 遥 (埼玉大学)	14:12	W09b SPICA 望遠鏡搭載に向けた自立型リング瞳マスクコロナグラフの開発 樋香奈恵 (宇宙航空研究開発機構)
11:48	V74a CTA 大口径望遠鏡の分割鏡の開発 (4) 加賀谷美佳 (茨城大学)	14:12	W10b 将来の近赤外背景放射観測装置への搭載に向けた光学結晶材料の低温屈折率測定 大西陽介 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
12:00	V75a CTA 大口径望遠鏡読み出し回路の開発 (4) 中森健之 (早稲田大学)	14:12	W11b 中間赤外線 2 次元アレイ用読み出し回路による IBC 型 Si:As 検出器評価実験 森 大輔 (名古屋大学)

14:24	W12a 遠赤外線画像センサーのための FD-SOI-CMOS 集積回路の特性ばらつき評価 長勢晃一 (総合研究大学院大学)	3月21日(木) 午前・F会場	
14:36	W13a 電荷敏感型赤外光トランジスタ CSIP の長波長化に向けた結晶構造の評価 二瓶亮太 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	10:00	W19a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 安東正樹 (国立天文台)
14:48	W14a 系外惑星直接観測のための焦点面波面センシングを併用したコロナグラフの開発 大矢正人 (日本大学 / 国立天文台)	10:12	W20a Nano-JASMINE と小型 JASMINE の進捗状況概要 郷田直輝 (国立天文台)
	W15c 遠赤外線干渉計 FITE の新干渉計調整機構とその光学系の開発 佐々木彩奈 (大阪大学)	10:24	W21b 小型 JASMINE の検討状況 - 熱・構造を中心に - 矢野太平 (国立天文台)
	W16c 遠赤外線干渉計 FITE: 新長軽量平面鏡の開発 叶 哲生 (大阪大学)	10:24	W22b 小型 JASMINE 実現のためのクリティカルな検討課題の技術実証 IV 丹羽佳人 (国立天文台)
	W17c FITE 用新放物面鏡調整機構の開発 片多修平 (大阪大学)	10:24	W23b 小型 JASMINE の迷光解析と PST カーブ 鹿島伸悟 (国立天文台)
	W18c FITE 用遠赤外線圧縮型 Ge:Ga 二次元アレイセンサの開発 秋山直輝 (大阪大学)	10:36	W24a 超小型赤外線位置天文衛星 Nano-JASMINE で用いる星像中心位置決定法について 原 拓自 (東京大学)
		10:48	W25a Nano-JASMINE データ解析の準備状況 山田良透 (京都大学)
		11:00	W26a インフレーションを検証する CMB 偏光観測小型科学衛星 LiteBIRD 羽澄昌史 (高エネルギー加速器研究機構)
		11:12	W27a CMB 偏光観測衛星 LiteBIRD における系統誤差の研究 II 永田 竜 (高エネルギー加速器研究機構)
		11:24	W28a カ学インダクタンス検出器と平面アンテナを用いた LiteBIRD 用両偏波ミリ波カメラの開発 成瀬雅人 (埼玉大学)
		11:36	W29a 宇宙マイクロ波背景放射偏光観測衛星 LiteBIRD のための多素子超伝導共振器カメラの設計 唐津謙一 (国立天文台)
		11:48	W30b LiteBIRD 衛星光学系の設計検討 木村公洋 (大阪府立大学)
		11:48	W31b 43GHz 帯における金属メッシュ鏡面の RF 性能測定 II 亀谷和久 (東京理科大学)

3月21日(木) 午後・F会場			
14:00	W32b 太陽 Ly α 線偏光分光観測ロケット実験 CLASP の cold mirror coating 開発 - Part III 成影典之 (宇宙航空研究開発機構)	15:12	W43b DIOS 衛星搭載を目指した TES 型X線マイクロカロリメータの開発 榎島陽介 (首都大学東京)
14:00	W33b 太陽 Ly α 線偏光分光観測ロケット CLASP に向けた波長板モーターの回転一様性評価 石川真之介 (国立天文台)	15:12	W44b 断熱消磁冷凍機を用いた X 線マイクロカロリメータ動作環境の構築 (3) 菱 右京 (金沢大学)
14:00	W34b 太陽 Ly α 線偏光分光観測ロケット実験 CLASP の微細スリット鏡開発 久保雅仁 (国立天文台)	15:12	W45b SpaceWire を用いた CCD 駆動実験 II 梅津里香 (立教大学)
14:12	W35a Solar-C 光学磁場診断望遠鏡(SUVIT)の検討状況 一本 潔 (京都大学)	15:24	W46a X 線ガンマ線偏光観測小型衛星 PolariS 計画の現状 林田 清 (大阪大学)
14:24	W36a SOLAR-C SUVIT 焦点面偏光分光装置の検討状況 原 弘久 (国立天文台)	15:36	W47a 宇宙科学研究所 新ビームラインの優位性の検証 林 多佳由 (宇宙航空研究開発機構)
14:36	W37b Solar-C に向けた駆動機構 (回転駆動機構・焦点調節機構) の開発状況 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)	15:48	W48b 小型衛星 PolariS 搭載用 X 線散乱イメージング偏光計の開発 II 定本真明 (大阪大学)
14:36	W38b SOLAR-C 偏光分光観測装置: 面分光装置で用いる矩形コアファイバーの特性評価 勝川行雄 (国立天文台)	15:48	W49b 宇宙科学研究所 新 X 線ビームラインの構築 佐藤寿紀 (宇宙航空研究開発機構)
	W39c 太陽彩層・遷移層磁場観測を目指した遠紫外線域凹面回折格子の開発 原 弘久 (国立天文台)		W50c CALET ガンマ線バーストモニター (CGBM) 開発の現状報告 3 川久保雄太 (青山学院大学)
14:36	W40b レーザープラズマ光源を使った Xmas 望遠鏡の撮像実験 VI 村上弘志 (立教大学)	3月22日(金) 午前・F会場	
14:48	W41a ダークバリオン探査ミッション DIOS の開発状況 大橋隆哉 (首都大学東京)	10:00	W51a ASTRO-H 搭載 硬 X 線望遠鏡 (HXT) の開発の現状 V 粟木久光 (愛媛大学)
15:00	W42a DIOS 衛星搭載用 4 回反射型 X 線望遠鏡 FXT の大口径反射鏡の開発 渡邊 剛 (名古屋大学)	10:12	W52a ASTRO-H 搭載 硬 X 線望遠鏡 (HXT) の環境試験前後での性能評価 滝澤峻也 (名古屋大学)
		10:24	W53a 可視平行光源を用いた ASTRO-H 搭載 硬 X 線望遠鏡 (HXT) の性能評価 黒田祐司 (名古屋大学)
		10:36	W54a ASTRO-H 衛星搭載硬 X 線撮像検出器 (HXI) の現状~ EM 試験性能と FM 製造~ 中澤知洋 (東京大学)

10:48	W55a ASTRO-H 搭載精密軟 X 線分光装置 SXS の開発の現状 (IX) 石崎欣尚 (首都大学東京)	3月22日(金) 午後・F会場
11:00	W56a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の波形処理機器 PSP の開発の現状 (VI) 下田優弥 (埼玉大学)	14:00 W66a 超小型衛星 Tsubame 搭載用検出器の研究開発 栗田 真 (東京工業大学)
11:12	W57a Astro-H 搭載軟 X 線撮像検出器 SXI の開発の現状 平賀純子 (東京大学)	14:12 W67a 広天域X線監視観測実験: Wide-Field MAXI 計画 河合誠之 (東京工業大学)
11:24	W58b ASTRO-H 搭載軟 X 線撮像検出器 (SXI) : EM システムを用いた性能評価と機能試験 信川久実子 (京都大学)	14:24 W68a 硬 X 線広天域走査観測で宇宙進化を探る FFAST 衛星の開発の現状 (II) 穴吹直久 (大阪大学)
11:24	W59b ASTRO-H 搭載 X 線 CCD カメラ (SXI) の軟 X 線応答の測定 佐々木将軍 (大阪大学)	14:36 W69a The performance study for the X-ray Polarimeter Instrument of Gravity and Extreme Magnetism Small Explorer (GEMS) Asami Hayato (RIKEN, NASA/ Goddard Space Flight Center)
11:24	W60b ASTRO-H 搭載軟X線撮像検出器 (SXI) の可視光遮断対策 幸村孝由 (工学院大学)	14:48 W70a ガンマ線バーストを用いた初期宇宙探査計画 HiZ-GUNDAM (High-z Gamma-ray bursts for Unraveling the Dark Ages Mission) 米徳大輔 (金沢大学)
11:36	W61b ASTRO-H 搭載軟 X 線撮像検出器 SXI のコンタミネーション対策 井澤正治 (東京工業大学)	15:00 W71a コーデッドマスクを用いた高赤方偏移ガンマ線バースト撮像検出器の開発 若島雄大 (金沢大学)
11:36	W62b 衛星搭載 CCD カメラ高速低雑音信号処理のためのアナログ ASIC の開発 中嶋 大 (大阪大学)	15:12 W72a MPPC を使用したガンマ線バースト偏光検出器の開発 米持 元 (金沢大学)
11:36	W63b ASTRO-H 衛星搭載軟ガンマ線検出器用ファインコリメータの性能評価 田邊利明 (広島大学)	15:24 W73a 荷電粒子バックグラウンドの除去効率を高めた X 線 CCD 検出器の開発 岩井将親 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
11:48	W64b ASTRO-H 衛星搭載 BGO アクティブシールドの信号処理におけるデジタルフィルタの改良 後藤国広 (広島大学)	15:36 W74a 大気中性子バックグラウンド計測検出器 PoGOLino 気球実験 高橋弘充 (広島大学)
11:48	W65b ASTRO-H 衛星搭載装置のアクティブシールド用 BGO 試験の現状 (2) 西田瑛量 (東京大学)	

X. 銀河形成

3月20日(水) 午後・B会場		3月21日(木) 午前・B会場	
13:00	X01a 銀河系の厚い恒星円盤成分の起源 豊内大輔 (東北大学)	10:00	X15a $z \sim 1.4$ の星形成銀河におけるガスの inflow rate と outflow rate への制限 矢部清人 (国立天文台)
13:12	X02a Two modes of star formation in the Galaxy derived by the Galactic archaeology 山田志真子 (北海道大学)	10:12	X16a Subaru/FMOS survey of star forming galaxies at $z \sim 1.5$ in COSMOS 柏野大地 (名古屋大学)
	X03c 初代星は銀河ハローのどこにいるのか? 須藤佳依 (甲南大学)	10:24	X17a A Jansky VLA 4-8 GHz Deep Survey in the SXDS Wiphu Rujopakarn (Univ. of Arizona)
13:24	X04a SMBH と outflow の衝撃波による星形成 國崎恵理 (お茶の水女子大学)	10:36	X18a SSA22 $z=3.09$ 原始銀河団銀河の MOIRCS 近赤外線分光観測 久保真理子 (東北大学)
13:36	X05a ALMA Observations of the IR-bright Merger VV114 齊藤俊貴 (東京大学 / 国立天文台)	10:48	X19a The Impact of the Remnant Mass on the Stellar Mass Estimation of Galaxies 清水一紘 (大阪産業大学)
13:48	X06a 機械学習を用いた銀河の形態分類 村田勝寛 (名古屋大学)	11:00	X20a 宇宙論的 dry merger シミュレーション による銀河団銀河の進化 大木 平 (北海道大学)
14:00	X07a 丸い円盤銀河はいつできたか? (2) 竹内智恵 (京都大学)	11:12	X21a 補償光学系観測で探る遠方銀河アウ トフロー 澁谷隆俊 (総合研究大学院大学)
14:12	X08a 丸い円盤銀河はいつできたか? (3) 太田耕司 (京都大学)	11:24	X22a 超広帯域ミリ波サブミリ波観測に基づく 大規模構造の進化の研究: 進捗状況 河野孝太郎 (東京大学)
14:24	X09a Bias Corrected Size-Stellar Mass Relations of Massive GALAXIES at $z \sim 1-3$ 森下貴弘 (東北大学)	11:36	X23a 測光カラーにもとづく種族 III 銀河の発 見方法 井上昭雄 (大阪産業大学)
14:36	X10b 53W002 領域の $z=2.4$ 原始銀河団にお ける大質量銀河探査 相田 優 (愛媛大学)	11:48	X24a 紫外線輻射による銀河の星形成史・ 銀河形態への影響 鈴木裕行 (筑波大学)
14:36	X11b Detection of an Ultra-bright Submillimeter Galaxy behind the Small Magellanic Cloud 竹腰達哉 (北海道大学)	12:00	X25a Possibility of Population III star formation in $z \leq 10$ 山澤大輔 (北海道大学)
14:36	X12b LAE 221724+001716 に対する重力レ ンズ効果 中広祐也 (愛媛大学)		
14:48	X13b FMOS によって得られた銀河のスペク トルの輝線検出と合成 鈴木裕司 (京都大学)		
14:48	X14b 3次元輻射流体計算による紫外線輻 射場中の星団形成過程の研究 安部牧人 (筑波大学)		

Y. 天文教育・その他

3月20日(水) 午後・D会場		
13:00	Y01a 九州大学ペガサスプロジェクトによる総合的宇宙教育の試み 藤原智子(九州大学)	14:36 Y13a 「はやぶさ2」アウトリーチ支援構想 高橋典嗣(日本スペースガード協会/明星大学)
13:12	Y02a 大学教育における汎学科の天体・宇宙観測科目の実践 山岡 均(九州大学)	Y14c 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)
13:24	Y03a 京都産業大学神山天文台「天文学を伝える」学生を育成する取り組み 吉川智裕(京都産業大学)	14:48 Y15b 銀河系中心ブラックホール SgrA* の2013年事象による天文教育普及活動 大西浩次(国立長野高専)
13:36	Y04a 芸術系宇宙科学広報について:「ギャラクシーラブ」開催報告 高木俊暢(宇宙航空研究開発機構)	
	Y05c 尾鷲市天文科学館と三重大学の連携 伊藤信成(三重大学)	
13:48	Y06a 天文学教育とキャリア教育の融合を目指したアクティブラーニングの実践 田中幹人(東北大学)	
14:00	Y07a 天文学に関する個人の文脈としてのサイエンスコミュニケーション 縣 秀彦(国立天文台)	
14:12	Y08b 「天文教育・その他」の論文はどこに投稿すればよいのか? 縣 秀彦(国立天文台)	
	Y09c 次期学習指導要領における高校での必修理科科目設置に関する基礎研究 縣 秀彦(国立天文台)	
14:12	Y10b 埼玉大学望遠鏡を用いた星空観望会の報告 大朝由美子(埼玉大学)	
14:12	Y11b 君も今日から太陽研究者! - ひので衛星データを使って解析体験実習 - 矢治健太郎(立教大学)	
14:24	Y12a 津山高専における小中学生向け天体観測会-君も未来のガリレオだ! - 佐々井祐二(津山工業高等専門学校)	

3月21日(木) 午前・D会場	
10:00	Y16a 日本の宇宙科学の黎明期の調査－ペンシルロケットの発掘と鑑定 阪本成一 (宇宙航空研究開発機構)
10:12	Y17a 大規模観察による科学教育プログラムとサイエンス；2012年金環日食 大西浩次 (国立長野高専)
10:24	Y18a 新聞は金環日食をどう伝えたか 白鳥 裕 (東海大学)
10:36	Y19a 大阪教育大学皆既日食プロジェクト1：デジタル一眼レフカメラの利用 福江 純 (大阪教育大学)
10:48	Y20a 大阪教育大学皆既日食プロジェクト2：太陽コロナの輝度分布の測定 小倉和幸 (大阪教育大学)
11:00	Y21a 京都における学校連携による金環日食北限界線の観測 有本淳一 (京都市立洛陽工業高校)
11:12	Y22a 歴史的天文資料を活用した日食（掩蔽）の普及に関する研究 齋藤 泉 (栃木県子ども総合科学館天文課)
11:24	Y23b 電波望遠鏡による金環日食時の Sun Noise の観測－公開天文台における電波観測施設のアマチュアによる観測例－岸裏一起 (みさと天文台友の会宇宙通信苦楽部)
11:24	Y24b 教室で手軽に使える太陽光導入装置（ヘリオスタット）の開発と応用 坂江隆志 (埼玉県立浦和西高等学校)
11:24	Y25b 太陽観測用手作り分光器の製作と観測への応用 野澤 恵 (茨城大学)
	Y26c 高速度カメラを用いたシーイングの補正実験について (II) 當村一朗
11:36	Y27b 地球の歳差運動と同様の歳差運動をする教育用独楽の製作 亀谷 収 (国立天文台)
	Y28c デジタル一眼レフカメラを用いた全天スカイモニターの製作と天文学への応用 高木良輔 (岡山理科大学)
	Y29c Sky Quality Meter の測定結果妥当性の検証結果 小野間史樹 (星空公園)
11:36	Y30b 銀河系教材の開発と実践－銀河下敷き－ 田中亜矢子 (鹿児島大学)
11:36	Y31b 一家に1枚 宇宙図 2013 小阪 淳
	Y32c 尾鷲市天文科学館 81cm 反射望遠鏡の性能評価 早川 賢 (三重大学)

2013年2月20日発行

年会実行委員会

委員長	宮田隆志	(東京大学)
委員	久保雅仁	(国立天文台)
	左近樹	(東京大学)
	佐藤文衛	(東京工業大学)
	鈴木知治	(東京大学)
	田中邦彦	(慶應義塾大学)
	寺田幸功	(埼玉大学)
	土居明広	(宇宙航空研究開発機構)
	峰崎岳夫	(東京大学)
	中道晶香	(京都産業大学) 保育室担当

年会開催地理事

田代信 (埼玉大学)